

GPSMAP H1/H1i Plus

操作マニュアル

目次

はじめに	1
GPSMAP H1i Plus デバイスをセットアップする	1
スマートフォンとペアリングしてデバイスを有効化する.....	1
Garmin Messenger アプリ.....	2
イリジウム衛星ネットワーク.....	2
GPSMAP H1 デバイスをセットアップする	2
スマートフォンとペアリングする.....	3
デバイスを充電する	3
充電中のバッテリー消費を抑える.....	3
デバイス概要	4
GPSMAP H1i Plus デバイスの概要.....	4
GPSMAP H1 デバイスの概要.....	5
ボタン操作	6
ホーム画面	7
ホーム画面とウィジェットをカスタマイズする.....	7
データ項目をカスタマイズする.....	7
通知センターとコントロール	8
ステータス LED	9
アクティビティを開始する	9
衛星信号を受信する.....	9
アクティビティ一覧をカスタマイズする.....	10
記録中のアクティビティをカスタマイズする.....	10
トラックバックでナビゲーションを開始する.....	10
アクティビティ記録を停止する.....	10
アプリ	11
高度計	12
高度計設定.....	12
Applied Ballistics	12
Applied Ballistics Quantum アプリ.....	12
Applied Ballistics のオプション.....	13
射撃条件をクイック編集する.....	13
レンジカード.....	13
目標カード.....	13
環境.....	14
プロフィール.....	14
Applied Ballistics の用語集.....	15
Applied Ballistics アプリ設定.....	18
面積を計算する	18

カメラと写真	19
写真を撮影する.....	19
写真を表示する.....	19
フラッシュライトを使用する	20
Garmin シェア	20
Garmin シェアでデータを共有する.....	20
Garmin シェアでデータを受信する.....	21
Garmin シェア設定.....	21
ジオキャッシュ	21
デバイスを Geocaching.com に登録する.....	21
PC でジオキャッシュをダウンロードする... ..	21
ジオキャッシュを検索する.....	21
ジオキャッシュリストをフィルター検索する.....	22
ジオキャッシュの詳細を確認する.....	22
ジオキャッシュへのナビゲーションを開始する.....	23
ログを記録する.....	23
デバイスからライブジオキャッシュデータを削除する.....	23
Geocaching.com からデバイスの登録を解除する.....	23
ジオキャッシュ設定.....	23
inReach デバイスをリモート操作する	24
衛星情報ページ	24
衛星設定.....	24
保存済みデータ	24
保存済みアプリを使用する.....	25
ストップウォッチを使用する	25
音声コマンドを使用する	25
音声コマンド一覧.....	26
音声コマンドのヒント.....	27
音声メモを録音する	27
天気情報を確認する	27
天気図を確認する.....	27
天気情報の取得地点を追加する.....	28
天気情報の取得地点を変更する.....	28
天気情報の取得地点を削除する.....	28
inReach 天気情報を衛星から取得する.....	28
inReach 天気情報を衛星経由で更新する.....	29
アプリを検索する	29
inReach 機能 - GPSMAP H1i Plus	30
メッセージ	30
テストメッセージを送信する.....	30
チェックインメッセージを送信する.....	30

新規メッセージを送信する	30	地図データを表示 / 非表示する	42
投稿メッセージを送信する	31	別売の地図データ	42
メッセージに返信する	31	ポイント	42
文字入力時の便利なボタン操作	32	現在地をポイント登録する	43
新着メッセージを確認する	32	地図上の任意の地点をポイント登録する	43
メッセージの詳細を確認する	32	ポイントへのナビゲーションを開始する	43
メッセージを削除する	32	保存済みポイントを検索する	43
メッセージ設定	32	ポイントを編集する	43
Messenger アプリ設定	33	ポイントを削除する	43
inReach トラッキング	33	保存済みのポイントを起点にポイントを投影する	43
トラッキングを開始する	33	ポイントの近隣情報を検索する	44
トラッキングを終了する	33	コース	44
トラッキングページを共有する	33	保存済みコースのナビゲーションを開始する	44
inReach トラッキング設定	33	コース名を編集する	44
SOS	34	地図上でのコースの表示色を変更する	44
SOS 救助要請を送信する	34	コースを地図で確認する	44
SOS カスタムメッセージを送信する	34	コースの高度グラフを確認する	45
SOS 救助要請を取り消す	35	コースを削除する	45
inReach のデータを同期する	35	ワイヤレス接続機能	46
契約プランの詳細と使用状況を確認する	35	Garmin Explore	46
連絡先	35	ワイヤレス接続機能の使用要件	47
連絡先を追加する	35	スマート通知機能	47
連絡先を編集する	35	通知を確認する	47
連絡先を削除する	35	通知を無効にする	47
inReach リモート設定	36	デバイスに表示する通知を管理する	47
ナビゲーション	37	Connect IQ 機能	47
目的地へのナビゲーションを開始する	37	Connect IQ コンテンツをダウンロードする	47
目的地を検索する	37	PC で Connect IQ コンテンツをダウンロードする	48
ルート探索設定	37	設定メニュー	49
ナビゲーションを中止する	37	音 / バイブの設定	49
コンパス	38	Bluetooth イヤホンと接続する	49
コンパスにナビゲーション情報を表示する	38	ディスプレイと輝度の設定	50
サイトナビ	38	ワイヤレス接続設定	50
現在地を起点にポイントを投影する	38	ワイヤレスセンサー	50
コースポインター	38	ワイヤレスセンサーをペアリングする	51
コンパス設定	39	Bluetooth 設定	51
地図	40	Wi-Fi 設定	51
地図管理	40	アクションボタンをカスタマイズする	51
地図をダウンロードする	40	アクティビティ設定	51
TopoActive 地図をダウンロードする	41	一定距離ごとにラップを取得する	52
地図を削除する	41	アクティビティ設定をリセットする	52
地図にナビゲーションルートを表示する	41		
地図上で距離を計測する	41		
地図設定	41		

データ記録設定.....	52	商標について	64
オートセーブ設定	52		
システム設定.....	53		
衛星設定	53		
デバイスのパスコードを設定する.....	53		
エクスペディションモードを有効にする	54		
位置フォーマット設定.....	54		
表示単位を変更する	54		
時刻設定	55		
リセット	55		
ページの設定を初期化する	55		
マリン設定.....	55		
マリンアラームを設定する	55		
設定メニューを検索する.....	55		
デバイス情報.....	57		
製品のアップデート.....	57		
Garmin Express をセットアップする	57		
デバイスに関するその他の情報.....	57		
お取り扱い上の注意事項.....	57		
デバイスのクリーニング方法	57		
USB ポートのクリーニング方法.....	57		
タッチスクリーンのクリーニング方法.....	57		
データ管理.....	58		
ファイル形式.....	58		
メモリーカードを挿入する	58		
デバイスを PC に接続する	58		
デバイスに PC からファイルを転送する	58		
ファイルを消去する	59		
仕様.....	59		
電子ラベルの規制および準拠情報を確認する	59		
付録.....	60		
データ項目.....	60		
別売アクセサリ	62		
tempe.....	62		
ワイヤレスセンサーをペアリングする際のヒ ント	62		
トラブルシューティング.....	62		
バッテリーの稼働時間を長くするには.....	62		
長期間の保管	62		
デバイスを再起動する.....	63		
心拍ゾーンについて.....	63		
フィットネスの目標	63		
心拍ゾーン参考表	63		

はじめに

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

GPSMAP H1i Plus デバイスをセットアップする

- 1 デバイスを充電します。(3 ページ デバイスを充電する)
- 2 デバイスの電源を入れ、表示言語、アクションボタンの機能、現在のアクティビティを選択します。(4 ページ GPSMAP H1i Plus デバイスの概要)
- 3 デバイスをスマートフォンの Garmin Messenger アプリとペアリングして、inReach 衛星通信機能を有効化します。(1 ページ スマートフォンとペアリングしてデバイスを有効化する)
- 4 必要に応じて、デバイスのセキュリティを向上するためのパスコードを作成します。(53 ページ デバイスのパスコードを設定する)
- 5 ソフトウェアの更新を確認します。(57 ページ 製品のアップデート)
デバイスを快適にご使用いただくために、デバイスのソフトウェアは常に最新の状態にしてください。ソフトウェアを更新することで、プライバシーやセキュリティ、その他さまざまな機能の修正や改善が反映されます。
- 6 デバイスを Garmin Messenger アプリと同期します。(35 ページ inReach のデータを同期する)
- 7 実際に使用する前にデバイスの衛星通信テストを行います。(30 ページ テストメッセージを送信する)
- 8 上空の開けた屋外に出て、衛星信号の受信が完了するまで待ちます。
- 9 アクティビティを開始します。(9 ページ アクティビティを開始する)

スマートフォンとペアリングしてデバイスを有効化する

⚠警告

メッセージ送受信、SOS、トラッキング、inReach 天気情報などの inReach 機能をデバイスで利用するには、衛星サブスクリプションプランが有効になっている必要があります。Garmin Messenger アプリでペアリングと有効化を完了するには、テキストメッセージの受信が可能な有効な電話番号が必要です。VOIP 番号はサポートされていません。デバイスを実際に使用する前に必ず屋外でデバイスの通信をテストしてください。

GPSMAP H1i Plus デバイスの機能を最大限に活用するには、Garmin Messenger アプリとデバイスをペアリングする必要があります。アプリを使用すると、スマートフォンでメッセージを作成・送信したり、inReach データをデバイスと同期できます。

- 1 デバイスの初期設定時に、スマートフォンのカメラで二次元コードをスキャンして、Garmin Messenger アプリをダウンロードしてインストールします。
注意：初期設定でペアリング手順をスキップした場合は、 > [inReach の有効化] の順に選択します。Garmin Messenger アプリではなく、Garmin Explore ウェブサイトでデバイスを有効化した場合は、メディアメッセージおよびグループメッセージは利用できません。
- 2 画面に表示される指示に従ってペアリングを完了し、サブスクリプションサービスプランを有効化します。
- 3 その他のスマートフォン接続機能をセットアップして使用するには、Garmin Explore アプリをダウンロードしてインストールします。

デバイスとスマートフォンがペアリングされると、電源が入っていて通信範囲内にある場合、自動的に接続されます。

Garmin Messenger アプリ

△警告

SOS、トラッキング、inReach 天気情報などの Garmin Messenger アプリの一部の inReach 機能を利用するには、有効な衛星サブスクリプションプランと、inReach 衛星コミュニケーターへの接続が必要です。Garmin Messenger アプリを実際に屋外で使用する前に、必ず通信テストを行ってください。

△注意

Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

注意

Garmin Messenger アプリは、インターネット(スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用)とイリジウム衛星ネットワーク(Iridium® satellite network)の両方で動作します。スマートフォンのデータ通信を使用する場合、スマートフォンで任意のデータ通信プランのご契約が必要です。また、データ通信エリア内でのみ利用することができます。ネットワーク通信エリア外でイリジウム衛星ネットワークを使用するには、inReach 衛星コミュニケーターに有効な衛星サブスクリプションプランが必要です。

Garmin デバイスを持たない相手でも、Garmin Messenger アプリでメッセージをやりとりできます。アプリをスマートフォンにインストールすることで、インターネットを介してログイン不要でコミュニケーションできます。また、アプリのユーザーは、SMS 電話番号でグループメッセージのメンバーを招待できます。グループメッセージに新しく追加されたメンバーは、Garmin Messenger アプリをダウンロードしてほかのメンバーのメッセージを確認できます。

スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用して送信されたメッセージには、inReach サブスクリプションプランのデータ料金や追加料金は発生しません。受信メッセージの配信時にイリジウム衛星ネットワークとインターネットの両方を介して試行された場合、メッセージの受信に料金が発生する場合があります。ご利用のスマートフォンのデータ通信プランの通常のテキストメッセージに対する料金が適用されます。

ご利用のスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Messenger アプリをダウンロードできます。
(Garmin.com/messengerapp)

イリジウム衛星ネットワーク

イリジウム衛星ネットワークを使用してメッセージや位置情報データを送信するには、上空の開けた場所で実行する必要があります。上空が開けていない場所では、衛星の電波を受信できるまでデバイスはメッセージを送り続けます。

ヒント：衛星の電波を受信しやすいように、デバイスのアンテナを空に向けてください。

GPSMAP H1 デバイスをセットアップする

- 1 デバイスを充電します。(3 ページ [デバイスを充電する](#))
- 2 デバイスの電源を入れ、表示言語、アクションボタンの機能、現在のアクティビティを選択します。(5 ページ [GPSMAP H1 デバイスの概要](#))
- 3 スマートフォンの Garmin Explore アプリとデバイスをペアリングします。(3 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))
アプリとペアリングすると、デバイスで通知を受信したり、天気予報の確認やライブジオキャッシュデータの検索などができます。
- 4 必要に応じて、デバイスのセキュリティを向上するためのパスコードを作成します。(53 ページ [デバイスのパスコードを設定する](#))
- 5 ソフトウェアの更新を確認します。(57 ページ [製品のアップデート](#))
デバイスを快適にご使用いただくために、デバイスのソフトウェアは常に最新の状態にしてください。ソフトウェアを更新することで、プライバシーやセキュリティ、その他さまざまな機能の修正や改善が反映されます。
- 6 上空の開けた屋外に出て、衛星信号の受信が完了するまで待ちます。
- 7 アクティビティを開始します。(9 ページ [アクティビティを開始する](#))

スマートフォンとペアリングする

GPSMAP H1 デバイスの機能を最大限に活用するには、スマートフォンの Garmin Explore アプリとデバイスをペアリングする必要があります。

- 1 デバイスの初期設定時に、スマートフォンのカメラで二次元コードをスキャンして、Garmin Explore アプリをダウンロードしてインストールします。

注意：初期設定でペアリング手順をスキップした場合は、 > [設定] > [ワイヤレス接続] > [ペアリング] の順に選択します。

- 2 アプリの画面に表示される指示に従って、ペアリングと設定を完了します。

デバイスとスマートフォンがペアリングされると、電源が入っていて通信範囲内にある場合、自動的に接続されます。

デバイスを充電する

注意

さびや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に USB ポートや防水カバーに付着した水分はよく拭き取ってください。

注意：充電温度範囲外の環境では充電できません。(59 ページ 仕様)

- 1 防水カバー①を外します。



- 2 デバイスの充電ポート②に電源ケーブルを差し込みます。

- 3 電源ケーブルのもう一方の端子を、PC の USB-C® ポートまたは AC アダプター (出力電圧 5V 以上) に差し込みます。ステータスバーに充電インジケータが表示されます。

充電中のバッテリー消費を抑える

- 1 デバイスを外部電源に接続します。

- 2 画面がオフになるまで  ボタンを長押しします。

低電力のバッテリー充電モードに切り替わり、バッテリーゲージが大きく表示されます。

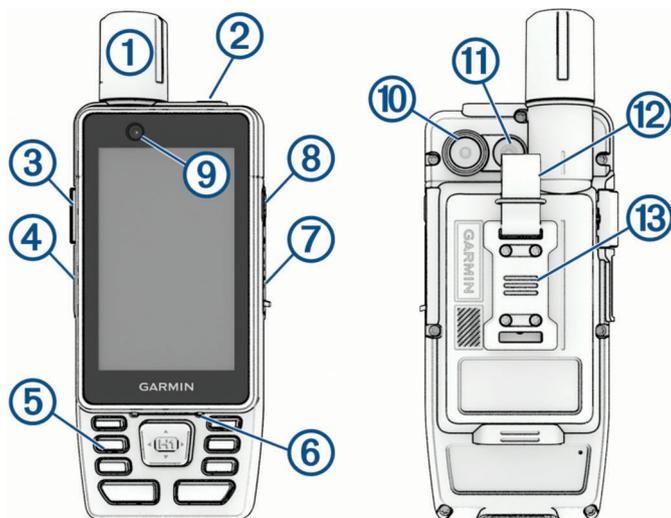
注意：外部電源から十分な電力が供給されない場合、充電中でもデバイスの電源をオフにすることができます。

電源をオフにするには、 が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。

- 3 充電が完了するまで待機します。

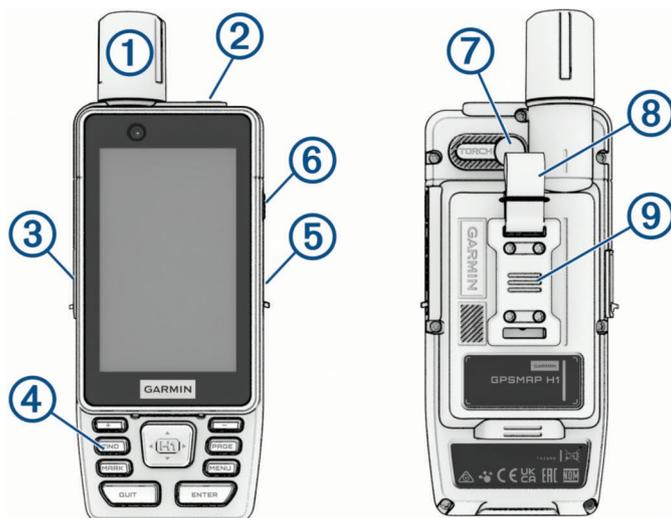
デバイス概要

GPSMAP H1i Plus デバイスの概要



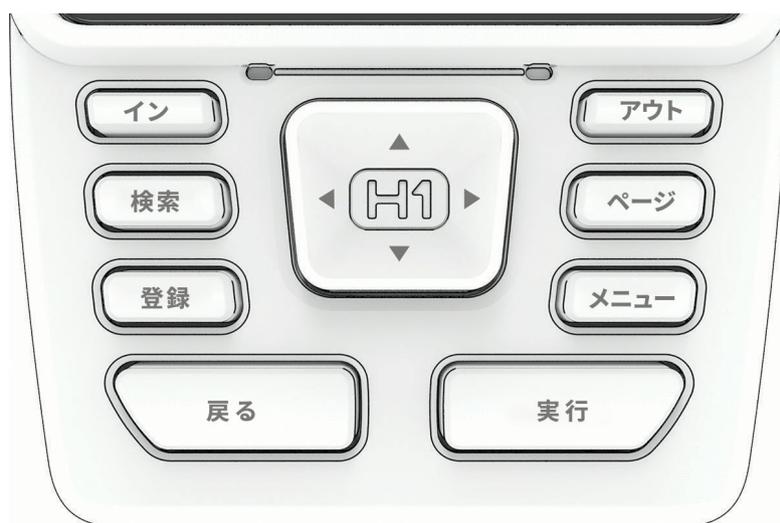
①	Iridium/GNSS アンテナ
②	<p>押す：スリープモード移行 / 解除</p> <p>長押し：電源オン / オフ、通知センターとコントロールを表示 (8 ページ 通知センターとコントロール)</p>
③	SOS ボタン(プロテクトカバー付き) (34 ページ SOS 救助要請を送信する)
④	USB ポート(防水カバー付き) (3 ページ デバイスを充電する)
⑤	ボタン(6 ページ ボタン操作)
⑥	マイク(27 ページ 音声メモを録音する、25 ページ 音声コマンドを使用する)
⑦	microSD [®] カードスロット(防水カバー付き) (58 ページ メモリーカードを挿入する)
⑧	<p>アクションボタン</p> <p>注意：初期設定または設定からボタンに割り当てるショートカット機能をカスタマイズできます。(51 ページ アクションボタンをカスタマイズする)</p>
⑨	フロントカメラ(19 ページ カメラと写真)
⑩	リアカメラ(19 ページ カメラと写真)
⑪	フラッシュライト(20 ページ フラッシュライトを使用する)
⑫	カラビナループ
⑬	<p>スパインマウント</p> <p>注意：スパインマウント(別売)は Garmin.co.jp でお求めいただけます。</p>

GPSMAP H1 デバイスの概要



①	GNSS アンテナ
②	<p>押す：スリープモード移行 / 解除</p> <p>長押し：電源オン / オフ、通知センターとコントロールを表示 (8 ページ 通知センターとコントロール)</p>
③	USB ポート (防水カバー付き) (3 ページ デバイスを充電する)
④	ボタン (6 ページ ボタン操作)
⑤	microSD カードスロット (防水カバー付き) (58 ページ メモリーカードを挿入する)
⑥	<p>アクションボタン</p> <p>注意：初期設定または設定からボタンに割り当てるショートカット機能をカスタマイズできます。(51 ページ アクションボタンをカスタマイズする)</p>
⑦	フラッシュライト
⑧	カラビナループ
⑨	<p>スパインマウント</p> <p>注意：スパインマウント (別売) は Garmin.co.jp でお求めいただけます。</p>

ボタン操作



検索	押す：目的地検索画面を表示
登録	押す：現在地をポイント登録
戻る	押す：実行中の操作や入力をキャンセル 長押し：ホーム画面に戻る
実行	押す：選択の決定、メッセージの確認
メニュー	押す：現在のページのオプションメニューを表示 2回押す：ホーム画面に戻る 長押し：通知センターとコントロールを表示
ページ	押す：最近開いたアプリを表示 長押し：開いているアプリを切り替え
十字キー ▲▼◀▶	押す：メニューをスクロール、ダイナミックエリアを操作、地図カーソルを操作
イン	押す：地図を拡大表示、次のページにスクロール
アウト	押す：地図を縮小表示、前のページにスクロール

ホーム画面



- ① **ステータスバー**：画面の上端から下にスワイプすると、通知センターとコントロールが表示されます。(8 ページ [通知センターとコントロール](#))
- ② **ホーム画面**：現在のアクティビティの概要が表示されます。ダイナミックエリアには、アクティビティタイプに応じた地図やデータ項目などが表示されます。各ダイナミックエリアを選択すると、詳細情報を確認できます。ホーム画面で左にスワイプすると、ツール、ウィジェット一覧、データ項目が表示されます。ホーム画面とウィジェット一覧はカスタマイズできます。(7 ページ [ホーム画面とウィジェットをカスタマイズする](#))
注意：一部のウィジェットを表示するには、ペアリング済みスマートフォンとの Bluetooth® 接続が必要です。(3 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))
右にスワイプして前のページに戻ります。
- ③ ：アプリの一覧を開きます。(11 ページ [アプリ](#))
- ④ ：現在のアクティビティを開始、停止、保存、削除または詳細情報を確認します。(9 ページ [アクティビティを開始する](#))
- ⑤ ：目的地(37 ページ [目的地を検索する](#))、アプリ(29 ページ [アプリを検索する](#))、設定(55 ページ [設定メニューを検索する](#))を検索します。
- ⑥ **保存済み**：保存済みメニューを開き、保存済みのポイント、コース、アクティビティをもとにナビゲーションを開始できます。(24 ページ [保存済みデータ](#))

ホーム画面とウィジェットをカスタマイズする

- 1 ホーム画面で**メニューボタン**を押すか、画面を長押しします。
- 2 **[ホーム画面を編集]**を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ウィジェットを変更するには、ウィジェットを**タップ**し、一覧から新しいウィジェットを選択します。
ヒント：ホーム画面で十字キーを押してウィジェットを選択し、**メニューボタン** > **[ウィジェットを編集]**を選択してウィジェットを個別に変更することもできます。
 - ・データ項目を変更するには、データ項目表示部を**タップ**し、カテゴリーから新しいデータ項目と表示する位置を選択します。
 - ・ページの表示順を並べ替えるには、画面下部の **<** または **>** を選択します。
 - ・お気に入りのページをすべてのアクティビティタイプで表示するには、**[ピン]**を選択します。
 - ・新しいページを追加するには、**[ページの追加]**を選択し、左にスワイプして標準のレイアウトオプションを選択またはカスタムページを作成します。
 - ・ページを複製するには、**メニューボタン**を押して**[ページを複製]**を選択します。
 - ・ページを削除するには、**メニューボタン**を押して**[ページの削除]**を選択します。
 - ・すべてのページをデフォルトの状態に戻すには、**メニューボタン**を押して**[すべてのページをリセット]**を選択します。

データ項目をカスタマイズする

- 1 更新するデータページを開きます。

- 2 データ項目を**タップ**して選択します。
- 3 データ項目のカテゴリーを選択します。
- 4 必要に応じて、データ項目の表示位置を選択します。

通知センターとコントロール

通知センターには現在のアクティビティ記録とペアリング済みのスマートフォンから取得した通知が表示されます。コントロールのオプションから、よく使用する機能にすばやくアクセスできます。

 を長押しするか、ホーム画面を上端から下に**スワイプ**して通知センターとコントロールを表示します。

アイコン	名前	説明
	輝度自動調節	周囲の明るさに応じて自動でディスプレイの輝度を調整します。
	Bluetooth	ペアリング済みのスマートフォンとの Bluetooth 接続を無効にします。
	輝度	スライドバーで画面の輝度を調整します。
	カメラ	GPSMAP H1i Plus デバイスのカメラを起動して写真を撮影します。(19 ページ 写真を撮影する)
	フラッシュライト	LED フラッシュライトを点灯します。
	Garmin シェア	Garmin シェアアプリを開きます。(20 ページ Garmin シェア)
	デバイスのロック	誤操作を防ぐためにボタンとタッチスクリーンを無効にします。電源ボタンを押すとボタンとタッチスクリーンのロックを解除できます。
	ポイント登録	現在地をポイント登録します。(42 ページ ポイント)
	電源	デバイスの電源をオフにします。
	設定	設定メニューを表示します。(49 ページ 設定メニュー)
	サイレン	サイレン機能のアラームを鳴らします。
	タッチ	タッチスクリーンをオン / オフします。
	トラッキング	GPSMAP H1i Plus デバイスで inReach トラッキングページを開きます。(33 ページ トラッキングを開始する)
	音声コマンド	GPSMAP H1i Plus デバイスで音声コマンド機能を起動し、コマンドを発話します(25 ページ 音声コマンドを使用する)
	音声メモ	GPSMAP H1i Plus デバイスで音声メモ機能を起動し、録音します。(27 ページ 音声メモを録音する)
	音量	デバイスのすべての音をミュートにしたり、スピーカーの音量を調整します。
	Wi-Fi	Wi-Fi® 接続をオン / オフします。

ステータス LED

ステータス LED ①でデバイスのステータスを確認できます。



LED の動作	ステータス
緑色 2 回点滅	(GPSMAP H1i Plus デバイスのみ) 未読の inReach メッセージあり
緑色点滅	デバイスがエクスペディションモード中 画面表示オフ中(デバイスの電源はオン)
赤色点滅	(GPSMAP H1i Plus デバイスのみ) inReach メッセージ送信失敗 バッテリー残量が 10%未満
赤色と緑色が交互に点滅	(GPSMAP H1i Plus デバイスのみ) SOS モード中

アクティビティを開始する

【アクティビティを開始】から、アクティビティオプションを選択してすぐにトレイルに出発できます。選択した内容はデバイスに保存され、次にアクティビティを開始する際も使用できます。

- 1 ホーム画面で【アクティビティを開始】を選択します。
- 2 アクティビティのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティ名を選択して、アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更します。
 - ・ 【ナビゲーション】を選択して、目的地へのナビゲーションを開始します。(37 ページ 目的地へのナビゲーションを開始する)
 - ・ GPSMAP H1i Plus デバイスで【トラッキング】を選択して、inReach トラッキングを開始します。(33 ページ トラッキングを開始する)
 - ・ GPSMAP H1i Plus デバイスで【チェックイン】を選択して、チェックインメッセージを送信します。(30 ページ チェックインメッセージを送信する)
- 3 上空の開けた屋外に出て、衛星信号の受信が完了するまで待ちます。
- 4 【開始】を選択します。
軌跡をアクティビティデータとして記録が開始されます。

衛星信号を受信する

デバイスで衛星信号を受信するには、上空の開けた屋外に出る必要があります。GPS の位置情報に基づいて、日付と時刻が自動で設定されます。

ヒント：GPS について詳しくは Garmin.com/aboutGPS をご参照ください。

- 1 上空の開けた屋外に出ます。
- 2 デバイスの電源をオンにします。
- 3 デバイスが衛星信号を受信するまで待ちます。
受信完了まで 30 ~ 60 秒ほどかかります。信号強度はステータスバー  で表示されます。

アクティビティ一覧をカスタマイズする

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[アクティビティ]** > **[アクティビティ編集]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ アクティビティを追加するには、**[アクティビティ追加]** を選択し、任意のアクティビティを選択します。(複数選択可)
 - ・ アクティビティを削除するには、 を選択します。
 - ・ アクティビティ一覧を並べ替えるには、任意のアクティビティを選択して**実行ボタン**を押し、 または  ボタンで移動させ、**実行ボタン**を押し位置を決定します。

記録中のアクティビティをカスタマイズする

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・  を長押しするか、ホーム画面を上端から下にスワイプして通知センターとコントロールを表示します。**[アクティビティの記録]** を選択します。
 - ・ ホーム画面下部のアクティビティ記録を選択します。
- 2 **メニューボタン**を押しオプションメニューを表示します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ アクティビティタイプを変更するには、**[アクティビティを変更]** を選択し、任意のアクティビティを選択します。
 - ・ 記録設定を変更するには、**[データ記録]** を選択します。(52 ページ [データ記録設定](#))
 - ・ 現在のアクティビティの設定を変更するには、**アクティビティ設定** を選択します。(51 ページ [アクティビティ設定](#))

トラックバックでナビゲーションを開始する

アクティビティの記録中に、現在のアクティビティの軌跡をたどって開始地点に戻るナビゲーションを実行できます。道に迷ったり、キャンプやトレイルヘッドに戻りたいときに便利な機能です。

- 1  を長押しするか、ホーム画面を上端から下にスワイプして通知センターとコントロールを表示します。
- 2 **[アクティビティの記録]** を選択します。
- 3 **[停止]** > **[TracBack]** > **[ナビゲーション]** の順に選択します。
- 4 ナビゲーションのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更するには、アクティビティ名を選択します。
 - ・ 地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算をするには、**[ルート探索]** のスイッチをオンにします。
 - ・ ルートの探索方法を設定するには、**[詳細設定]** を選択します。(37 ページ [ルート探索設定](#))
- 5 **[出発]** > **[再開]** の順に選択します。

地図に開始地点と終了地点、ルートが表示されます。ルートは色付きの線(マゼンタ)で表示されます。
- 6 地図ページ(41 ページ [地図にナビゲーションルートを表示する](#))またはコンパスページ(38 ページ [コンパスにナビゲーション情報を表示する](#))を参考にしながらナビゲーションを開始します。

アクティビティ記録を停止する

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・  を長押しするか、ホーム画面を上端から下にスワイプして通知センターとコントロールを表示します。**[アクティビティの記録]** を選択します。
 - ・ ホーム画面下部のアクティビティ記録を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ 現在のアクティビティの記録を停止するには、**[停止]** を選択します。
 - ・ 現在のアクティビティの記録を再開するには、**[再開]** を選択します。
 - ・ 現在のアクティビティの記録を保存するには、**[停止]** > **[保存]** の順に選択します。
 - ・ 現在のアクティビティの記録を削除するには、**[停止]** > **[削除]** の順に選択します。

アプリ

 を選択してアプリの一覧を開きます。アプリを並べ替えるには、アプリ名を長押ししてドラッグして移動させるか、**メニューボタン**を押して **[表示項目編集]** を選択します。

ヒント：アプリはアプリ名で検索できます。(29 ページ [アプリを検索する](#))

名前	詳細
高度計	高度計を表示します。(12 ページ 高度計)
Applied Ballistics	長距離射撃の照準のソリューションを表示します。(12 ページ Applied Ballistics)
面積計算	任意のエリアの面積を計算します。(18 ページ 面積を計算する)
カメラ	内蔵カメラで写真を撮ります。(19 ページ 写真を撮影する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
チェックイン	チェックインメッセージを送信します。(30 ページ チェックインメッセージを送信する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
連絡先	inReach メッセージの連絡先を管理します。(35 ページ 連絡先) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
コンパス	コンパスを表示します。(38 ページ コンパス)
Connect IQ	インストール済みの Connect IQ コンテンツを一覧で表示します。(47 ページ Connect IQ 機能)
フラッシュライト	フラッシュライトを点灯します。(20 ページ フラッシュライトを使用する)
Garmin シェア	Garmin デバイス間でデータを送受信します。(20 ページ Garmin シェア)
ジオキャッシュ	ダウンロード済みのジオキャッシュを一覧で表示します。(21 ページ ジオキャッシュ)
inReach の有効化	スマートフォンの Garmin Messenger アプリとペアリングして衛星通信サービスプランを有効化します。(1 ページ スマートフォンとペアリングしてデバイスを有効化する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
inReach リモート	GPSMAP H1 デバイ스에ペアリングされた inReach デバイスでメッセージを送信します。(24 ページ inReach デバイスをリモート操作する)
地図	地図を表示します。(40 ページ 地図)
地図管理	ダウンロード済みの地図を表示・管理します。Outdoor Maps+ サブスクリプションをお持ちの場合は、追加の地図データをダウンロードできます。(40 ページ 地図管理)
ポイント登録	現在地をポイントとして保存します。(43 ページ 現在地をポイント登録する)
Messenger	GPSMAP H1i Plus デバイスからイリジウム衛星ネットワークを使用してメッセージを送信したり、新着メッセージの問い合わせを行います。(30 ページ メッセージ)
写真	デバイスに保存されている写真データを表示します。(19 ページ 写真を表示する)
衛星情報	衛星に関する情報をリアルタイムで表示します。(24 ページ 衛星情報ページ)
保存済み	デバイスに保存されているポイント、コース、アクティビティ、コレクションを表示します。(24 ページ 保存済みデータ)
サービスプラン	使用中の inReach サービスプランの詳細を表示します。(35 ページ 契約プランの詳細と使用状況を確認する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
設定	設定メニューを開きます。(49 ページ 設定メニュー)
サイレン	警報音を鳴らします。
SOS	SOS 救助要請の送信方法のヒントを表示します。(34 ページ SOS) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ) SOS 救助要請の送信後に選択すると、SOS メッセージスレッドを表示します。
ストップウォッチ	タイムを測定したりラップを取得できます。(25 ページ ストップウォッチを使用する)
トラッキング	軌跡ポイントを記録してイリジウム衛星ネットワーク経由で送信します。(33 ページ トラッキングを開始する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
コースポイント	コース上にあるこの先のポイントの情報を表示します。【 コースポイント 】アプリを使用すると、直線ルートでのコースナビゲーションを実行中に案内中の地点を変更することができます。
音声コマンド	音声コマンドを起動します。(25 ページ 音声コマンドを使用する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)
音声メモ	音声メモを録音します。(27 ページ 音声メモを録音する) (GPSMAP H1i Plus デバイスのみ)

名前	詳細
天気	現在の天気情報を表示します。(27 ページ 天気情報を確認する)

高度計

デフォルトでは、現在のアクティビティの高度グラフが表示されます。高度ページの設定はカスタマイズできます(12 ページ [高度計設定](#))。グラフ上の任意の地点を選択して、詳細を確認することができます。

高度計設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[高度計]** を選択し、**メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。

[リセット]：ポイントやトリップデータなどの高度計データをリセットします。(55 ページ [リセット](#))

[高度設定] - **[高度計]**：高度計をオフにして、位置情報データのみを使用して標高を測定できます。

[高度設定] - **[自動校正]**：アクティビティ開始時に高度計を自動校正します。

[高度設定] - **[プロットタイプ]**：データタイプを、時間推移と高度変化、距離推移と高度変化から選択します。

[高度設定] - **[高度計を校正]**：高度計の手動校正を開始します。(12 ページ [高度計を校正する](#))

[ズーム倍率変更]：高度ページのグラフのズーム倍率を変更します。

[設定リセット]：高度計に関する設定を初期化します。

高度計を校正する

- 1 正確な標高、海面気圧、GPS 高度のいずれかがわかる地点に移動します。
- 2  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 3 **[高度計]** を選択します。
- 4 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[高度設定]** > **[高度校正]** の順に選択します。
- 6 **[方法]** を選択し、高度校正に使用する測定値を選択します。
- 7 測定値を入力します。
- 8 **[校正]** を選択します。

Applied Ballistics

⚠警告

Applied Ballistics® 機能は、銃と弾丸のプロフィールと現在の状況の測定のみに基づいた正確な仰角と偏流のソリューションを提供することを目的としています。ご使用の環境によっては、状況が急激に変化することがあります。突風やダウンレンジの風のような環境の変化は、射撃の精度に影響を与える可能性があります。仰角と偏流のソリューションの提案は、本機能に入力したデータのみに基づきます。環境条件が大きく変化した場合は、繰り返し慎重に測定し、測定値を安定させてください。状況の変化と測定値の誤差に対して、常に安全マージンを確保してください。

射撃する前に、射撃目標と射撃目標の周囲および後方にあるものを必ず確認してください。射撃環境の確認を怠った場合、物的損害、重傷、または死亡につながるおそれがあります。

Applied Ballistics 機能は、ライフルや弾丸の特性と様々な環境条件に基づきカスタマイズされた長距離射撃の照準のソリューションを提供します。風や気温、湿度、レンジ、射撃方向などのパラメータを入力することができます。

この機能は、弾丸の長距離発射に必要な仰角のホールドオーバーや偏流、弾丸の飛行時間、弾丸のタイプのカスタム抗力モデルなどの情報を提供します。この機能の詳細については、appliedballisticsllc.com をご参照ください。用語とデータ項目については [15 ページ Applied Ballistics の用語集](#) をご参照ください。

注意：Applied Ballistics 機能を使用するには、Applied Ballistics Quantum™ アプリの弾道ソルバーをアップグレードする必要があります。(12 ページ [Applied Ballistics Quantum アプリ](#))

Applied Ballistics Quantum アプリ

Applied Ballistics Quantum アプリで、GPSMAP デバイスの弾道プロフィールを管理したり、弾道ソルバーをアップグレードすることができます。Applied Ballistics Quantum アプリは、お使いのスマートフォンに対応するアプリストアからダウンロードすることができます。

Applied Ballistics のオプション

 を選択してアプリの一覧を開きます。[Applied Ballistics] を選択し、**メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。

Range Card：入力したパラメータに基づく様々なレンジのデータを確認できます。項目をカスタマイズしたり、レンジの傾きを編集したり、ベースレンジを設定することができます。(13 ページ [レンジカードの項目をカスタマイズする](#))

Target Card：レンジ、仰角、偏流などの現在の目標の長距離射撃の条件を設定します(13 ページ [目標を編集する](#))。選択した目標を変更したり、最大 26 個の目標をカスタマイズできます。(13 ページ [目標を変更する](#))

Environment：現在の環境における大気条件をカスタマイズします。カスタム値を入力するか、デバイスの内蔵センサーで計測した気圧と緯度を使用するか、接続中のワイヤレスセンサーで計測したデータを使用することができます。(14 ページ [環境](#))

Profile：現在のプロフィールの銃、弾丸、スコープのプロパティを設定します(14 ページ [プロフィールを編集する](#))。選択したプロフィールを変更したり(15 ページ [別のプロフィールを選択する](#))、新しいプロフィールを追加する(14 ページ [プロフィールを追加する](#))ことができます。

Settings：単位、小数点以下の桁数、目標ラベル、偏流と仰角の射撃コントロールのオプションを設定します。

射撃条件をクイック編集する

レンジ、射撃の方向、風の情報を編集します。

- 1 [Applied Ballistics] を開きます。十字キーで項目をスクロールし、**イン** または **アウトボタン**でそれぞれの値を編集します。
- 2 Range 値に目標の距離を設定します。
- 3 Direction of Fire 値に実際の射撃の方向を設定します。(手動で入力またはコンパスを使用します。)
- 4 Wind 1 値に低風速を設定します。
- 5 Wind 2 値に高風速を設定します。
- 6 Wind Direction 値に風向を設定します。

レンジカード

レンジカードの項目をカスタマイズする

- 1 [Applied Ballistics] を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 [Range Card] を選択します。
- 3 ◀または▶ ボタンで項目を選択し、**実行ボタン**を押します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - レンジの傾きを編集するには、[RNG] > [Range Increment] の順に選択して値を入力します。
 - ベースレンジを設定するには、[RNG] > [Base Range] の順に選択して値を入力します。
 - その他の項目をカスタマイズするには、一覧から項目を選択します。

目標カード

目標を追加する

最大 26 個の目標を追加できます。

- 1 [Applied Ballistics] を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 [Target Card] > [Add Target] の順に選択します。
新しい目標は、リストの最下部に表示されます。

目標を編集する

- 1 [Applied Ballistics] を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 [Target Card] を選択します。
- 3 目標を選択します。
- 4 編集する項目を選択します。

目標を変更する

- 1 [Applied Ballistics] を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 [Target Card] を選択します。

- 3 目標を選択します。
- 4 **[Set as Current]** を選択します。

目標を削除する

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Target Card]** を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ 目標を 1 件ずつ削除するには、任意の目標を選択して **[Delete]** を選択します。
 - ・ すべての目標を削除するには、**メニューボタン**を押して **[Delete All]** を選択します。

環境

環境を編集する

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Environment]** を選択します。
- 3 編集する項目を選択します。

自動更新を有効にする

自動更新機能をオンにすると、緯度と気圧の値が自動で更新されます。温度センサーやウェザーメーターなどのワイヤレスセンサーと接続中は、その他の環境項目も更新されます(51 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))。値は毎分更新されます。

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Environment]** > **[Auto Update]** > **[On]** の順に選択します。

プロフィール

プロフィールを追加する

Applied Ballistics Quantum アプリで .pro ファイルを作成するか、デバイスの AB フォルダに転送することで、プロフィール情報を含む .pro ファイルを追加できます(58 ページ [デバイスに PC からファイルを転送する](#))。デバイスでプロフィールを作成することもできます。

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Profile]** を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ 新規プロフィールを作成するには、**[+ Profile]** を選択します。
 - ・ 既存のプロフィールを元に新規プロフィールを作成するには、既存のプロフィールを選択して **[Copy]** を選択し、名前を入力します。

プロフィールを編集する

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Profile]** を選択します。
- 3 プロフィールを選択します。
- 4 必要な場合は、**[Rename]** を選択して名前を編集します。
- 5 **[Properties]** を選択します。
- 6 次のオプションを選択します。

注意：一部のオプションは、**[Advanced Settings]** がオフの場合は表示されません。

- ・ 弾丸のプロパティを入力するには、**[Bullet Data]** を選択して任意のオプションを選択します。
ヒント：Applied Ballistics の弾丸データベースから弾丸のプロパティを自動入力するには、**[Bullet Library]** を選択します。
弾丸のプロパティを手動で入力する場合は、メーカーのウェブサイト情報を参照することをおすすめします。
- ・ 銃のプロパティを入力するには、**[Gun Data]** を選択して任意のオプションを選択します。
- ・ スコープのプロパティを入力するには、**[Scope]** を選択して任意のオプションを選択します。
- ・ 砲口初速を校正するには、**[Calibrate Muzzle Velocity]** > 任意のオプション > **[Use]** の順に選択します。砲口初速を校正することで、銃の超音速領域でのソリューションの精度が向上します。
- ・ カスタム抗力係数を校正するには、**[Calibrate Custom Drag Factor]** > 任意のオプション > **[Use]** の順に選択します。
- ・ 砲口初速の温度テーブルを編集するには、**[MV Temp Table]** を選択して**メニューボタン**を押し、**[Edit]** を選択し編集する値を選択します。
注意：砲口初速の温度テーブルをデフォルト値にリセットするには、**[Clear MV-Temp]** を選択します。
- ・ ドロップスケール係数を校正するには、**[Drop Scale Factor]** > **[Calibrate DSF]** > 任意のオプション > **[Use]** の順に選択します。ドロップスケール係数を校正することで、銃の超音速領域でのソリューションの精度が向上します。

注意：ドロップスケール係数を校正する前に砲口初速を校正することを推奨します。ドロップスケール係数の校正後、**[View DSF Table]** を選択してドロップスケール係数テーブルを確認できます。ドロップスケール係数テーブルをデフォルト値にリセットするには、**[Clear DSF Table]** を選択します。

プロフィールを削除する

注意：現在使用中のプロフィールは削除できません。

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Profile]** を選択します。
- 3 プロフィールを選択します。
- 4 **[削除]** を選択します。

別のプロフィールを選択する

- 1 **[Applied Ballistics]** を開き、**メニューボタン**を押します。
- 2 **[Profile]** を選択します。
- 3 プロフィールを選択します。
- 4 **[Set as Current]** を選択します。

Applied Ballistics の用語集

クイック編集項目

Direction of Fire (射撃方向)：北を 0°、東を 90°としたときの射撃の方向。(入力項目)

Elevation (仰角)：照準のソリューションの垂直部分。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Range (レンジ)：目標までの距離。単位はヤードまたはメートル。(入力項目)

Wind 1 (風速 1)：射撃のソリューションに使用される風速。単位はマイル毎時(mph)、キロメートル毎時(km/h)、またはメートル毎秒(m/s)。(入力項目)

Wind 2 (風速 2)：射撃のソリューションに使用される風速(オプション)。単位はマイル毎時(mph)、キロメートル毎時(km/h)、またはメートル毎秒(m/s)。(入力項目)

ヒント：2つの風速を使用して、高値と低値を含む偏流のソリューションを求めます。実際の射撃に適用される偏流は、この範囲に収まります。風速1と風速2の両方を使用することは、シューターと目標間の異なる距離において異なる風速を考慮する効果的な方法とは言えません。

Windage 1 (偏流 1)：風速1と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Windage 2 (偏流 2)：風速2と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Wind Direction (風向)：風の方向。例：風向が9時のとき、シューターから見て左から右に吹いていることを表します。(入力項目)

レンジカード項目

Bullet Drop (弾丸ドロップ)：飛行軌道上で発生する弾丸の総ドロップ量。単位はインチまたはセンチメートル。

Elevation (仰角)：照準のソリューションの垂直部分。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

H. Cor. Effect：水平方向のコリオリ効果。コリオリ効果による偏流のソリューションの量。超長距離射撃でない限り影響は小さい値ですが、常にデバイスにより計算されます。

Lead (リード)：特定の速度で左または右に移動する目標の射撃に要する垂直方向の補正值。

ヒント：目標の移動速度を入力すると、デバイスが必要な偏流を考慮して総偏流値を導きます。

Remaining Energy (残りエネルギー)：目標衝突時の弾丸の残りエネルギー量。単位はフィート重量ポンド(ft. lbf)またはジュール(J)。

Spin Drift (スピンドリフト)：スピンドリフト(ジャイロスコープドリフト)による偏流のソリューションの量。例：北半球では、右ねじれの銃身から発射された弾丸は進行方向に対して常にわずかに右にそれる。

Time of Flight (飛行時間)：弾丸が目標に到達するまでに要する時間。

V. Cor. Effect：垂直方向のコリオリ効果。コリオリ効果による仰角のソリューションの量。超長距離射撃でない限り影響は小さい値ですが、常にデバイスにより計算されます。

Velocity (速度)：目標衝突時の弾丸の推定速度。

Velocity Mach (マッハ速度)：目標衝突時の弾丸の推定速度。単位はマッハ。

Windage 1 (偏流 1)：風速1と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Windage 2 (偏流 2) : 風速 2 と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン (mrad/mil) または分角 (MOA)。

目標カード項目

Direction of Fire (射撃方向) : 北を 0°、東を 90°としたときの射撃の方向。(入力項目)

ヒント : この値は、デバイスのコンパス機能を使って簡単に設定できます。射撃方向の入力欄にはコンパスの現在の値が表示されます。デバイスの上部を射撃方向に向けて**メニューボタン**を押すことでこの値を使用できません。

Inclination (傾き) : 射撃の傾きの角度。マイナスの値は撃ち下ろし、プラスの値は撃ち上げを表します。射撃のソリューションの垂直部分に傾斜角の余弦をかけて撃ち上げまたは撃ち下ろしを調整したソリューションを求めます。(入力項目)

Range (レンジ) : 目標までの距離。単位はヤードまたはメートル。(入力項目)

Speed (スピード) : 移動する目標の速度。単位はマイル毎時 (mph)、キロメートル毎時 (km/h) またはメートル毎秒 (m/s)。マイナスの値は目標が左方向、プラスの値は目標が右方向に移動していることを表します。(入力項目)

環境項目

Direction (風向) : 風が吹いてくる方向。(例：風向が 9 時のとき、シューターから見て左から右に吹いていることを表します。)(入力項目)

Humidity (湿度) : 空気中に含まれる水分の量の割合。(入力項目)

Latitude (緯度) : 地球表面上の水平位置。赤道より北側はプラスの値、赤道より南側はマイナスの値で表されます。この値は、垂直および水平方向のコリオリ効果によるドリフトを計算するために使用されます。(入力項目)

ヒント : **[Use Current Position]** のオプションを選択して、デバイスで測位した GPS 座標を使用できます。

注意 : **[Latitude]** はコリオリ効果を計算するときのみに使用される値です。射撃目標までの距離が 1,000 ヤード未満のとき、値の入力は必須ではありません。

Pressure (気圧) : 周囲(現地)気圧。周囲気圧は、海面気圧(大気圧)に校正されません。周囲気圧は弾道射撃のソリューションに必要な値です。(入力項目)

ヒント : 手動で値を入力するか、**[Use Current Pressure]** のオプションを選択してデバイスの内蔵センサーで計測した値を使用できます。

Temperature (温度) : 現在地の気温。単位は華氏 (°F) または摂氏 (°C)。(入力項目)

ヒント : 接続中の tempe センサーまたはその他の温度センサーの計測値を手動で入力できます。Tempe センサーが接続されていても、値は自動更新されません。

Wind Direction Mode (風向のモード) : 射撃方向に対する風向 (**[Relative to DOF]**) か真北に対する風向 (**[True Wind Dir]**) かを設定します。

注意 : 異なる射撃方向 (DOF) の複数の目標を狙う場合、**[True Wind Dir]** のオプションを選択すると、風向は変わらず DOF のみの調整で済むため便利です。

Wind Speed 1 (風速 1) : 射撃のソリューションに使用される風速。単位はマイル毎時 (mph)、キロメートル毎時 (km/h)、またはメートル毎秒 (m/s)。(入力項目)

Wind Speed 2 (風速 2) : 射撃のソリューションに使用される風速(オプション)。単位はマイル毎時 (mph)、キロメートル毎時 (km/h)、またはメートル毎秒 (m/s)。(入力項目)

ヒント : 2 つの風速を使用して、高値と低値を含む偏流のソリューションを求めます。実際の射撃に適用される偏流は、この範囲に収まります。

プロフィール項目 - 弾丸データ

Ballistic Coefficient (弾道係数) : 弾丸のメーカーの弾道係数。(入力項目)

Diameter (弾丸直径) : 弾丸の直径。単位はインチまたはセンチメートル。(入力項目)

注意 : 弾丸の直径は、弾丸の通称と異なる場合があります。例えば、300 Win Mag の実際の直径は .308 インチです。

Length (弾丸の長さ) : 弾丸の長さ。単位はインチまたはセンチメートル。(入力項目)

Model (抗力曲線のモデル) : 抗力計算に使用する、G1 標準または G7 標準弾体モデル。(入力項目)

注意 : 長距離ライフルの弾丸のほとんどが G7 標準に近いです。

Weight (弾丸の重量) : 弾丸の重量。単位はグレーン (gr) またはグラム (g)。(入力項目)

プロフィール項目 - 銃データ

Muzzle Velocity (砲口初速) : 砲口から弾丸が射出される時の速度。単位はフィート毎秒 (f/s) またはメートル毎秒 (m/s)。(入力項目)

注意：この項目は射撃ソリューションの正確な算出のために必須です。砲口初速を校正すると、この項目は自動更新され、より正確な射撃ソリューションを得られます。

Sight Height(スコープの高さ)：ライフル銃伸の中心軸からスコープの中心軸までの距離。単位はインチまたはセンチメートル。(入力項目)

ヒント：この値は、ボルトの上部からウィンデージタレットの中心までを測り、ボルトの直径の半分の値を加えることで簡単に求めることができます。

Twist Direction(ツイスト方向)：銃身のライフルリングの回転方向。多くのライフルは右回転。(入力項目)

Twist Rate(ツイストレート)：銃身のライフルリングが一回転するのにかかる距離。単位はインチまたはセンチメートル。多くの場合、銃または銃身のメーカーからライフルリングツイストが提供されています。(入力項目)

Zero Range(ゼロイン距離)：ライフルのゼロイン距離。単位はヤードまたはメートル。(入力項目)

プロフィール項目 - スコープ

Scope Units：スコープの調整単位。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)、または分角(MOA)。(入力項目)

Sight in Conditions(照準の条件)：銃を照準する際の環境条件。300 ヤード以上の距離で銃を照準する際に調整が推奨されるオプションです。(オン/オフを設定)

SSF Elevation：垂直方向のスケールリングを考慮した線形乗算器。すべてのライフルスコープが完璧に追従するわけではないため、弾道ソリューションでは特定のライフルスコープに応じてスケールを補正する必要があります。例えば、タレットを 10mil 移動したときに目標衝突が 9mil の場合、照準器のスケールは 0.9 になります。(入力項目)

SSF Windage：水平方向のスケールリングを考慮した線形乗算器。すべてのライフルスコープが完璧に追従するわけではないため、弾道ソリューションでは特定のライフルスコープに応じてスケールを補正する必要があります。例えば、タレットを 10mil 移動したときに目標衝突が 9mil の場合、照準器のスケールは 0.9 になります。(入力項目)

Zero Height(ゼロ高)：ゼロイン距離の仰角に影響する調整オプション。サプレッサーを追加したり、亜音速の弾を使用する場合に主に使用されます。例えば、サプレッサーを追加し、弾丸が予想より 1 インチ高く目標に衝突した場合、ゼロ高は 1 インチになります。サプレッサーを取り外すときは、この値を 0 に戻す必要があります。(入力項目)

Zero Humidity(ゼロ湿度)：銃を照準中の空気中に含まれる水分の量の割合。300 ヤード以上の距離で銃を照準する際に調整が推奨されるオプションです。(入力項目)

Zero Offset(ゼロオフセット)：ゼロイン距離の偏流に影響する調整オプション。サプレッサーを追加したり、亜音速の弾を使用する場合に主に使用されます。例えば、サプレッサーを追加し、弾丸が予想より 1 インチ左に目標に衝突した場合、ゼロオフセットは 1 インチになります。サプレッサーを取り外すときは、この値を 0 に戻す必要があります。(入力項目)

Zero Pressure(ゼロ気圧)：銃を照準中の周囲気圧。300 ヤード以上の距離で銃を照準する際に調整が推奨されるオプションです。(入力項目)

Zero Temperature(ゼロ温度)：銃を照準中の気温。300 ヤード以上の距離で銃を照準する際に調整が推奨されるオプションです。(入力項目)

プロフィール項目 - 砲口初速の校正

Range(レンジ)：砲口から目標までの距離。単位はヤードまたはメートル。(入力項目)

ヒント：射撃ソリューションで提案された距離にできるだけ近い値を入力する必要があります。この値は、弾丸がマッハ 1.2 まで減速し、遷音速域に入り始める距離です。

True Drop(トゥールドロップ)：弾丸が目標まで飛行しているときに落下する実際の距離。単位はミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。(入力項目)

プロフィール項目 - カスタム抗力係数の校正

Range(レンジ)：射撃位置からの距離。(入力項目)

ヒント：多くの場合、校正されたカスタム抗力係数の修正は 10% を超えないようにします。

True Drop(トゥールドロップ)：弾丸が目標まで飛行しているときに落下する実際の距離。単位はミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。(入力項目)

プロフィール項目 - ドロップスケール係数の校正

Range(レンジ)：射撃位置からの距離。(入力項目)

ヒント：射撃ソリューションで提案された距離の 90% 以内の値である必要があります。80% 未満の値には有効な調整が行われません。

True Drop(トゥールドロップ)：弾丸が目標まで飛行しているときに落下する実際の距離。単位はミリラジアン

(mrad/mil)または分角(MOA)。(入力項目)

プロフィールページのデータ項目

Aerodynamic Jump(空力跳起効果): 空力跳起による仰角のソリューションの量。空力跳起は、横風による弾丸の垂直方向の偏差を指します。空力跳起は Wind Speed 1 の値をもとに計算されます。横風の構成要素または風の値がなければ、この値は0になります。

Bullet Drop(弾丸ドロップ): 飛行軌道上で発生する弾丸の総ドロップ量。

Cos. Incl. Ang.(傾斜角の余弦): 目標に対する傾斜角の余弦。

Elevation(仰角): 照準のソリューションの垂直部分。単位はミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

H. Cor. Effect: 水平方向のコリオリ効果。コリオリ効果による偏流のソリューションの量。超長距離射撃でない限り影響は小さい値ですが、常にデバイスにより計算されます。

Lead(リード): 特定の速度で左または右に移動する目標の射撃に要する垂直方向の補正值。

ヒント: 目標の移動速度を入力すると、デバイスが必要な偏流を考慮して総偏流値を導きます。

Max Ord.(最大弾道高): 最大弾道高。単位はインチまたはセンチメートル。弾丸の飛行軌道上で到達する銃身の軸からの最大の高さ。

Max Ord. Range(最大弾道高距離): 弾丸が最大弾道高に到達する距離。単位はヤードまたはメートル。

Remaining Energy(残りエネルギー): 目標衝突時の弾丸の残りエネルギー量。単位はフィート重量ポンド(ft. lbf)またはジュール(J)。

Spin Drift(スピンドリフト): スピンドリフト(ジャイロスコーブドリフト)による偏流のソリューションの量。例: 北半球では、右ねじれの銃身から発射された弾丸は進行方向に対して常にわずかに右にそれる。

Time of Flight(飛行時間): 弾丸が目標に到達するまでに要する時間。

V. Cor. Effect: 垂直方向のコリオリ効果。コリオリ効果による仰角のソリューションの量。超長距離射撃でない限り影響は小さい値ですが、常にデバイスにより計算されます。

Velocity(速度): 目標衝突時の弾丸の推定速度。単位はフィート毎秒(f/s)またはメートル毎秒(m/s)。

Velocity Mach(マッハ速度): 目標衝突時の弾丸の推定速度。単位はマッハ。

Windage 1(偏流 1): 風速 1 と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Windage 2(偏流 2): 風速 2 と風向に基づく水平方向に対する上方向の角度のソリューション。単位はインチ、ミリラジアン(mrad/mil)または分角(MOA)。

Applied Ballistics アプリ設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。[設定] > [Applied Ballistics] の順に選択します。

Units: Applied Ballistics アプリで使用する単位を設定します。

Hold Precision: 弾道計算で精密値を使用するか、丸めた値を使用するかを選択します。

Targets: 目標の識別方法をアルファベット順または番号順から選択します。

Fire Control Settings: [Spin Drift]、[Coriolis Effect]、[Aerodynamic Jump] による補正の有効 / 無効を選択します。

面積を計算する

-  を選択してアプリの一覧を開きます。
- [面積計算] を選択します。
- 次のオプションを選択します。
 - [GPS を使用] > [ポイントをマークする] 地図上で任意の地点を選択して計測する範囲を設定します。
 - [GPS を使用] > [基本的な面積計算] 計測する範囲の外周を歩いてたどります。
 - [コースを使用] 保存済みのコースデータをもとに面積を計算します。
- 必要に応じて、測定単位、面積当たりの価格、長さ当たりの価格、勾配を編集します。
- 画面に表示される指示に従って操作し、[開始] を選択します。
- 範囲などを設定し終わったら、[停止して計算] を選択します。

注意

一部の国または地域では、カメラまたはカメラ付属品の使用は規制または禁止されています。ユーザーの責任において、このデバイスを使用する地域で適用される法律およびプライバシー権に関する規定事項を把握し、遵守してください。

GPSMAP H1i Plus デバイスで写真を撮ることができます。この機能を有効にすると、撮影時の位置情報が写真情報に自動で保存され、撮影地点までのナビゲーションを実行することができます。

写真を撮影する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[カメラ]** を選択します。
- 3 デバイスを横向きまたは縦向きに回転させて、写真の向きを変更します。
- 4  を選択してリアカメラとフロントカメラを切り替えます。
- 5 必要に応じて、 を選択するか**メニューボタン**を押してフラッシュを調整します。
- 6 シャッターボタンを選択するか**実行ボタン**を押して写真を撮影します。

写真を表示する

GPSMAP H1i Plus デバイスのカメラで撮影した写真や、デバイスにインポートした写真を閲覧できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]** を選択します。
 - ・ **[カメラ]** を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 写真を選択します。

写真の表示順を変更する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]** を選択します。
 - ・ **[カメラ]** を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[写真並べ替え]** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **[最新]** を選択します。
 - ・ **[近隣]** を選択し、任意の地点を選択します。
 - ・ **[日付指定]** を選択し、任意の日付を入力します。

写真の撮影地点を表示する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]** を選択します。
 - ・ **[カメラ]** を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 写真を選択します。
- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[地図表示]** を選択します。

写真の情報を表示する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]** を選択します。
 - ・ **[カメラ]** を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 写真を選択します。

- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[詳細情報]**を選択します。

写真を削除する

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]**を選択します。
 - ・ **[カメラ]**を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 写真を選択します。
- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[写真を削除]** > **[削除]**の順に選択します。

スライドショーを表示する

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ **[写真]**を選択します。
 - ・ **[カメラ]**を選択してフォトビューアーを選択します。
- 3 写真を選択します。
- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[スライドショーを表示]**を選択します。

フラッシュライトを使用する

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[フラッシュライト]**を選択します。
- 3 **実行ボタン**を押すか を選択してフラッシュライトを点灯します。

注意：フラッシュライトを使用するとバッテリーの消費が早くなります。輝度調整スライダーで輝度を低くして、バッテリーの消費を抑えることができます。

Garmin シェア

注意

情報を他のユーザーに共有する際は、ご自身の判断と責任で行ってください。情報の共有相手をよく確認してください。

Garmin シェア機能で、デバイスのデータをほかの対応する Garmin デバイスに Bluetooth 接続でワイヤレスに共有することができます。スマートフォン接続や Wi-Fi 接続なしで、Garmin シェアが有効な対応するデバイス間で、直接ポイントやコースを安全に転送できます。

Garmin シェアでデータを共有する

この機能を利用するには、デバイスの Bluetooth 接続がオンで、デバイス同士が 3m 以内にある必要があります。Garmin シェアで、ほかのデバイスとデータを共有することに同意を求められた場合、同意する必要があります。

ほかの対応する Garmin デバイスと接続中にデータを送受信することができます(21 ページ [Garmin シェア](#) でデータを受信する)。異なるデバイス間でもデータを転送することができます。例えば、Garmin ウォッチに GPSMAP デバイスのコースデータを転送できます。

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Garmin シェア]** > **[続行]**の順に選択します。
- 3 **[共有]**を選択します。
- 4 カテゴリーを選択して、一つ以上のアイテムを選択します。
- 5 **[共有]**を選択します。
- 6 送信先のデバイスが検索されるのを待ちます。
- 7 デバイスを選択します。
- 8 送信デバイスと受信デバイスで 6 桁のコードが一致することを確認して、**[接続]**を選択します。
- 9 データの転送完了を待ちます。

10 別のデバイスに同じアイテムを再共有するには、**[再度共有する]**を選択します。(任意)

11 **[完了]**を選択します。

Garmin シェアでデータを受信する

この機能を利用するには、デバイスの Bluetooth 接続がオンで、デバイス同士が 3m 以内にある必要があります。Garmin シェアで、ほかのデバイスとデータを共有することに同意を求められた場合、同意する必要があります。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Garmin シェア]**を選択します。
- 3 範囲内のデバイスが検索されるのを待ちます。
- 4 **[OK]**を選択します。
- 5 送信デバイスと受信デバイスで 6 桁のコードが一致することを確認して、**[接続]**を選択します。
- 6 データの転送完了を待ちます。
- 7 **[完了]**を選択します。

Garmin シェア設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Garmin シェア]** の順に選択します。

[ステータス]: Garmin シェア機能を有効 / 無効にします。

[デバイスを削除]: 過去に Garmin シェアでアイテムを共有したことのあるすべてのデバイスの情報を削除します。

ジオキャッシング

ジオキャッシングとは、GPS 座標を手がかりとする宝探しゲームです。

デバイスを Geocaching.com に登録する

www.geocaching.com にデバイスを登録して、近くのジオキャッシングやジオキャッシングのライブデータを検索できます。

- 1 Wi-Fi ネットワーク (51 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#)) または Garmin Explore アプリに接続します (3 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))。
- 2  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 3 **[ジオキャッシング]** > **[デバイスの登録]** の順に選択します。
デバイスがインターネットに接続されている場合、画面にアクティベーションコードと URL が表示されます。
- 4 表示された URL に PC からアクセスし、画面に表示される指示に従って操作します。

デバイスの登録完了後、ワイヤレス接続中は www.geocaching.com のジオキャッシングをデバイスで確認できます。

PC でジオキャッシングをダウンロードする

PC からデバイスにジオキャッシングを手動で取り込むことができます (58 ページ [デバイスに PC からファイルを転送する](#))。 www.geocaching.com からダウンロードした GPX ファイル形式のジオキャッシングデータを、PC からデバイスに手動で取り込むことができます。 www.geocaching.com のプレミアムアカウントをお持ちの場合、lists 機能で複数のジオキャッシングデータをグループ化して 1 つの GPX ファイルとしてダウンロードすることができます。

- 1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
- 2 www.geocaching.com にアクセスします。
- 3 必要な場合は、新規アカウントを作成します。
- 4 サインインします。
- 5 www.geocaching.com に表示される指示に従ってジオキャッシングを検索し、デバイスにダウンロードします。

ジオキャッシングを検索する

デバイスに保存したジオキャッシングデータを名前や条件で絞り込んで検索できます。

www.geocaching.com に接続している場合は、ライブジオキャッシングデータの検索とジオキャッシングのダウンロードが可能です。

注意: ジオキャッシングの詳細情報をダウンロードする場合、一日当たりのダウンロード可能数には制限があります。プレミアムサブスクリプションを購入すると、ダウンロード可能数を増やすことができます。詳しくは、www.geocaching.com をご参照ください。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。

2 [ジオキャッシュ]を選択します。

ジオキャッシュを選択していない場合は、現在地付近のジオキャッシュが自動で表示されます。

3 メニューボタンを押してオプションメニューを表示します。

4 次のオプションを選択します。

- デバイスにダウンロードしたジオキャッシュから現在地や任意の地点の近隣のジオキャッシュを検索するには、[検索]を選択し、任意の地点を選択します。
- ライブジオキャッシュデータをコードで検索するには、[ライブジオキャッシュをダウンロード]>[GCコード]の順に選択し、ジオキャッシュコードを入力します。
この機能は、必要なジオキャッシュのコードがわかっている場合に、指定したジオキャッシュを www.geocaching.com からダウンロードするのに役立ちます。
- ライブジオキャッシュデータから任意の地点の近隣のジオキャッシュを検索するには、[ライブジオキャッシュをダウンロード]>[最寄りのポイントをダウンロード]の順に選択し、任意の地点を選択します。

5 ジオキャッシュを選択します。

ジオキャッシュの詳細情報が表示されます。

注意：ライブジオキャッシュデータを選択して接続している場合、必要に応じて、完全なジオキャッシュ詳細情報がデバイスの内部ストレージにダウンロードされます。

ジオキャッシュリストをフィルター検索する

難易度などの特定の要素でジオキャッシュリストをフィルター検索できます。

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [ジオキャッシュ]を選択します。
- 3 メニューボタンを押してオプションメニューを表示します。
- 4 [フィルタ]を選択し、次のいずれかまたは複数のオプションを選択します。
 - 保存した絞り込み条件を使用するには、[絞り込みを適用]から任意のフィルターを選択します。
 - [タイプ] ジオキャッシュのカテゴリーで絞り込みます。
 - [サイズ] ジオキャッシュの入れ物のサイズで絞り込みます。
 - [ステータス] ジオキャッシュの発見/未発見のステータスで絞り込みます。
 - ライブジオキャッシュでフィルター検索するには、[ジオキャッシュファイル]を選択してスイッチをオンにします。
 - [1.0]～[5.0] ジオキャッシュの発見難易度または地形の難易度で絞り込みます。
- 5 [完了]を選択してジオキャッシュのフィルター検索結果を表示します。

ジオキャッシュのフィルター検索条件を保存する

ジオキャッシュのフィルター検索条件を作成・保存できます。

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [設定]>[ジオキャッシュ]>[フィルタの設定]>[フィルタを作成]の順に選択します。
- 3 絞り込む項目を選択します。
- 4 [保存]を選択します。
デフォルトでは、新しいフィルターは自動で保存されます。フィルターの絞り込み設定と名前は変更可能です。

ジオキャッシュのフィルター検索条件を編集する

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [設定]>[ジオキャッシュ]>[フィルタの設定]の順に選択します。
- 3 フィルターを選択します。
- 4 編集する項目を選択します。

ジオキャッシュの詳細を確認する

- 1 を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [ジオキャッシュ]を選択します。
- 3 ジオキャッシュを選択します。
ジオキャッシュの説明が表示されます。
メニューボタンを押すとログやヒントを確認できます。

ジオキャッシュへのナビゲーションを開始する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[ジオキャッシュ]** を選択します。
- 3 ジオキャッシュを選択します。
- 4 **[ナビゲーション]** を選択します。
- 5 ナビゲーションのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティ名を選択して、アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更します。
 - ・ 地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算をするには、**[ルート探索]** のスイッチをオンにします。
 - ・ ルートの探索方法を設定するには、**[詳細設定]** を選択します。(37 ページ [ルート探索設定](#))
- 6 **[出発]** を選択します。

ルート探索結果が地図上に表示されます。ナビゲーションツールを使用して移動できます。(40 ページ [地図](#)、38 ページ [コンパス](#))

ログを記録する

ジオキャッシュの探索結果のログを記録します。一部のジオキャッシュについては www.geocaching.com から確認できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 ジオキャッシュへのナビゲーション実行中に、**[ジオキャッシュ]** > **[ログ]** の順に選択します。
- 3 **[発見]** / **[未発見]** / **[修繕必要]** / **[不可(存在なし)]** のいずれかを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ ログを終了するには、**[完了]** を選択します。
 - ・ 最寄りのジオキャッシュへのナビゲーションを開始するには、**[次の最寄り地点を検索]** を選択します。
 - ・ ジオキャッシュの検索やジオキャッシュに関するコメントを入力するには、**[コメントの編集]** を選択します。

www.geocaching.com にサインインしてデバイスを接続している場合、ログは自動的にアップロードされます。

デバイスからライブジオキャッシュデータを削除する

デバイスからライブジオキャッシュデータを削除します。ライブジオキャッシュデータを削除すると、デバイスに手動で取り込んだジオキャッシュデータのみが表示されます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[ジオキャッシュ]** > **[ジオキャッシュライブ]** > **[ライブデータを削除]** の順に選択します。

ライブジオキャッシュデータがデバイスから削除され、ジオキャッシュリストに表示されなくなります。

Geocaching.com からデバイスの登録を解除する

デバイスを他のユーザーに譲渡する場合は、ジオキャッシュのウェブサイトからデバイスの登録を削除します。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[ジオキャッシュ]** > **[ジオキャッシュライブ]** > **[デバイスの登録解除]** の順に選択します。

ジオキャッシュ設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[ジオキャッシュ]** の順に選択します。

[ジオキャッシュライブ]: デバイ스에保存されているライブジオキャッシュデータの削除や、geocaching.com のデバイス登録の解除ができます。(23 ページ [デバイスからライブジオキャッシュデータを削除する](#)、23 ページ [Geocaching.com からデバイスの登録を解除する](#))

[ジオキャッシュスタイル]: ジオキャッシュリストの表示スタイルを選択します。

[フィルタの設定]: ジオキャッシュのフィルター検索条件を作成・保存します。(22 ページ [ジオキャッシュのフィルター検索条件を保存する](#))

[発見したジオキャッシュ]: 発見済みのジオキャッシュの数を編集します。ログに発見を記録すると自動で加算されます。(23 ページ [ログを記録する](#))

[ジオキャッシュ近接アラーム]: ジオキャッシュに一定の距離まで近づいたことを知らせるアラートを設定できます。

inReach デバイスをリモート操作する

GPSMAP H1 デバイスで inReach 衛星コミュニケーターのリモート操作を行います。

注意：必要な場合は、デバイスの inReach リモート機能を有効にしてください。詳しくは、ご使用のデバイスの操作マニュアルをご参照ください。

- 1 GPSMAP H1 デバイスと inReach 衛星コミュニケーターを 3m 以内に近づけます。
ヒント：GPSMAP H1 デバイスは複数のデバイスからのデータ同時受信はできません。データ送信を行う 1 台以外は 3m 以上離すか、データ転送機能をオフにしてください。
- 2 inReach 衛星コミュニケーターの電源を入れます。
- 3 GPSMAP H1 デバイスで  を選択してアプリの一覧を開き、**[inReach リモート]** を選択します。
- 4 **[inReach デバイスをペアリング]** > **[inReach リモート]** > **[スキャン]** の順に選択します。
近くにあるデバイスの一覧が表示されます。
- 5 一覧から inReach 衛星コミュニケーターを選択します。
- 6 GPSMAP H1 デバイスと inReach 衛星コミュニケーターの接続が完了するまで待ちます。
- 7 両方のデバイスで 6 桁のコードが一致することを確認して、**[OK]** を選択します。
- 8 次のオプションを選択します。
 - ・チェックインメッセージを送信するには、**[メッセージ]** >  の順に選択します。
 - ・テキストメッセージを送信するには、**[メッセージ]** > **[新しいメッセージ]** の順に選択します。送信先を選択し、メッセージを入力またはクイックテキストメッセージを選択します。
 - ・inReach トラッキングを開始するには、**[トラッキング]** > **[トラッキング開始]** の順に選択します。
 - ・ウェブ上のトラッキングページへのリンクを共有するには、**[トラッキング]** > **[追跡用リンクを共有]** の順に選択します。
 - ・天気情報を確認するには、**[天気]** を選択します。
 - ・SOS 救助要請を送信するには、**[SOS 開始]** を選択します。
注意：SOS の機能は実際の緊急時のみご利用ください。

衛星情報ページ

衛星情報ページでは、現在の位置情報、衛星の位置と信号強度を確認できます。 を選択してアプリの一覧を開き、**[衛星情報]** を選択します。他の衛星システムが利用可能な場合は、画面を横に**スワイプ**して情報を確認できます。

衛星設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[衛星情報]** を選択し、**メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。

[衛星測位オンで使用]：衛星受信を有効にします。

注意：このオプションはデバイスがデモモードになっている場合にのみ表示されます。(53 ページ [衛星設定](#))

[トラックアップ]：進行方向が常に画面の上方になるように衛星配置図の向きを調整します。

[ノースアップ]：常に北が画面の上方になるように衛星配置図を表示します。

[シングルカラー]：衛星情報ページをシングルカラーデザインで表示します。

[マルチカラー]：衛星情報ページをマルチカラーデザインで表示します。

[衛星設定]：衛星システムに関する設定を行います。(53 ページ [衛星設定](#))

保存済みデータ

ホーム画面で**[保存済み]**を選択します。

ポイント：任意の地点の位置情報を記録してデバイスに保存したデータです。現在地、目的地、移動履歴からポイントを保存できます。(42 ページ [ポイント](#))

コース：経由地を順に通過して最終目的地に到着するように、複数のポイントや場所を一本に結んだデータです。(44 ページ [コース](#))

アクティビティ：デバイスで取得した軌跡をアクティビティとして記録できます。(9 ページ [アクティビティを開始する](#))

コレクション：Garmin Explore アプリで、関連するポイント、コース、アクティビティをコレクションとしてまとめて保存できます。各コレクションのデータの表示 / 非表示を設定できます。(46 ページ [Garmin Explore](#))

保存済みアプリを使用する

- 1 ホーム画面で **[保存済み]** を選択します。
- 2 **[コレクション]** を選択します。
Garmin Explore アカウントから取得したコレクションが表示されます。
ヒント：メニューオプションで、デバイス上でのコレクションのオン/オフを変更できます。この機能は、保存データがコレクションに整理されている場合に、**[保存済み]** アプリ内でフィルター検索する際に役立ちます。**[保存済み]** アプリには、オンに設定されているコレクションのポイントやコースが表示されます。
- 3 任意のアイテムを選択します。
ヒント：保存済みアイテムの一覧の上部にあるアイコンから、アイテムをフィルター検索できます。例えば  を選択すると、ポイントで絞り込むことができます。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・保存済みアイテムへのナビゲーションを開始するには、**[ナビゲーション]** を選択します。
 - ・コースまたはアクティビティの高度グラフを確認するには、 を選択します。
 - ・コースまたはアクティビティを地図で確認する(ナビゲーション実行中以外)には、**メニューボタン** を押し、**[地図に表示]** を選択します。
 - ・コースまたはアクティビティの地図上での表示色(ナビゲーション実行中以外)を変更するには、**メニューボタン** を押し、**[カラー選択]** を選択します。
 - ・保存済みアイテムを削除するには、**メニューボタン** を押し、**[削除]** を選択します。

ストップウォッチを使用する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[ストップウォッチ]** を選択します。
- 3 タイム計測の開始/停止に合わせてアクティビティを開始/停止するには、**メニューボタン** を押し、**[アクティビティ同期を有効にする]** を選択します。
- 4 **[開始]** を選択してタイム計測を開始します。
- 5 ラップを取得するには、**[ラップ]** を選択します。
全体のタイム計測は継続されます。
- 6 **[停止]** を選択して両方のタイム計測を停止します。
- 7 **[リセット]** を選択して両方のタイム計測をリセットします。

音声コマンドを使用する

GPSMAP H1i Plus デバイスの内蔵マイクに向かって発話してデバイスを操作できます。

注意：音声コマンド機能は、一部の言語および地域では使用できません。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ホーム画面の上端から下に**スワイプ**して通知センターとコントロールを表示し、 を選択します。
 - ・アクションボタンを押します。
注意：アクションボタンの機能はカスタマイズできます。(51 ページ [アクションボタンをカスタマイズする](#))
 - ・ を選択してアプリの一覧を開き、**[音声コマンド]** を選択します。
- 2 任意の音声コマンドを発話します。(26 ページ [音声コマンド一覧](#))

音声コマンド一覧

音声コマンドシステムは、自然音声を自動認識して動作するように設計されています。以下のリストは、GPSMAP H1i Plus デバイスで使用できる音声コマンドの一例です。リストに示す例とは異なるフレーズでもコマンドを認識することができます。

音声コマンドのヘルプ	機能
<ul style="list-style-type: none">・コマンドとして使えるフレーズを教えてください・認識できるコマンドは？	音声コマンドの例を表示します。

デバイスとディスプレイ

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none">・フラッシュライトを消して・フラッシュライト消灯	デバイスの機能を無効にするコマンドの例。このコマンドでは、フラッシュライトをオフにします。
<ul style="list-style-type: none">・画面輝度を高くして・ディスプレイを明るくする	ディスプレイの輝度を上げます。
<ul style="list-style-type: none">・輝度をオートに設定する・スクリーンの明るさ自動調整をオン	周囲の明るさに応じてディスプレイの輝度を自動調整します。
<ul style="list-style-type: none">・明るさ 80 に調整・ディスプレイの輝度を 80 に変更する	ディスプレイの輝度を指定した値(0 ~ 100%)に設定します。
<ul style="list-style-type: none">・最初のページに戻る・ホーム画面を開いて	ホーム画面を表示します。
<ul style="list-style-type: none">・音声コマンドを終了・今の入力取り消し	現在の音声コマンドを終了します。例えば、言い間違えたときや中断するときなどに使用できます。

アラーム&タイマー

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none">・ストップウォッチを起動する・ストップウォッチで計測開始	ストップウォッチを開始します。
<ul style="list-style-type: none">・ストップウォッチ停止・ストップウォッチでの計測を終了	ストップウォッチを停止します。

アプリとアクティビティ

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none">・今の天気を教えてください・天気予報を表示	デバイスのアプリを開くコマンドの例。このコマンドでは、天気アプリを表示します。
<ul style="list-style-type: none">・コンパスを表示・コンパス画面を開いて	デバイスのアプリを開くコマンドの例。このコマンドでは、コンパスを表示します。
<ul style="list-style-type: none">・アクティビティ記録開始・新しいアクティビティを記録する	現在のアクティビティタイプでアクティビティの記録を開始します。
<ul style="list-style-type: none">・ハイキングアクティビティにして・モードをハイキングに変更	現在のアクティビティタイプを変更します。
<ul style="list-style-type: none">・inReach トラッキングを開始・ライブトラックをオンにして	inReach トラッキングを開始します。

注意：音声コマンド一覧に示すアプリとアクティビティは一例です。デフォルトのすべてのアプリとアクティビティは、音声コマンドのフレーズに使用することができます。(11 ページ アプリ)

ナビゲーション

音声コマンド	機能
<ul style="list-style-type: none">・ナビゲーションを起動・ルートを教えてください	目的地検索画面を表示します。
<ul style="list-style-type: none">・ここをポイント登録する・ポイント一覧に現在地を追加	現在地をポイントとして保存します。

オーディオ

音声コマンド	機能
・音量 8 にセット ・音量を 8 に変更する	音量を指定した値(0～10)に設定します。
・音量を下げる ・音量を落として	音量を下げます。
・ミュートにする ・サウンドをオフにして	サウンドをミュートします。
・未読メッセージを読んで ・メッセージは来ていますか	未読の inReach メッセージを、古いものから順に自動で読み上げます。

音声コマンドのヒント

- ・マイクに向かって通常の声で発話してください。(4 ページ [GPSMAP H1i Plus デバイスの概要](#))
- ・デバイスが認識可能なフレーズを使用してください。(26 ページ [音声コマンド一覧](#))
- ・音声認識の精度を高めるため、周囲の雑音(人の声や風など)が少ない環境で使用してください。
- ・強い風が吹いているときに最大限の性能を発揮するためには、風に背を向け、デバイスを口元に近づけてください。

音声メモを録音する

GPSMAP H1i Plus デバイスの内蔵マイクとスピーカーで、音声メモを録音・再生します。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[音声メモ]** > **[新規音声メモ]** の順に選択します。
- 3 **実行ボタン**を押すか  を選択して録音を開始します。
- 4 音声メモに録音する内容を発話します。
- 5 **実行ボタン**を押すか  を選択して録音を終了します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・  音声メモを再生します。
 - ・  音声メモの名前を変更します。
 - ・  再生音量を調整します。
 - ・ **メニューボタン** > **[削除]** 音声メモを削除します。

天気情報を確認する

デバイスをスマートフォンまたは Wi-Fi ネットワークに接続している場合は、詳細な天気情報をインターネットから取得できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
現在地の天気予報データが自動でダウンロードされます。
- 3 詳細な天気情報を確認するには、時間、天気図、または日付を選択します。

天気図を確認する

デバイスをスマートフォンまたは Wi-Fi ネットワークに接続してインターネットへのアクセスが可能な場合は、降水量や雲量、気温、風の情報を示すライブ天気図を確認できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 天気図を選択します。
- 4 **[降水量]**、**[雲量]**、**[温度]**、または**[風速]**を選択します。
注意：地域によって利用可能なオプションは異なります。
選択したデータが地図上に表示されます。天気図の読み込みに時間がかかる場合があります。

天気情報の取得地点を追加する

ポイントや位置座標などで指定した任意の地点の天気情報を確認できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[天気予報の地域]** > **[新位置設定]** の順に選択します。
- 5 任意の地点を選択します。
- 6 **[位置を選択]** を選択します。
- 7 必要に応じて場所の名前を編集し、 を選択します。
選択した地点の天気予報データがダウンロードされます。

天気情報の取得地点を変更する

以前に天気情報の取得地点を追加したことがある場合は、表示する天気予報の地点を素早く切り替えることができます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[天気予報の地域]** を選択します。
- 5 リストから地点を選択します。
ヒント：**[現在地]** を選択すると、現在地の天気予報データがダウンロードされます。
選択した地点の最新の天気予報データがダウンロードされます。

天気情報の取得地点を削除する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[天気予報の地域]** を選択します。
- 5  を選択します。
- 6  を選択します。
注意：**[現在地]** の天気予報データは削除できません。

inReach 天気情報を衛星から取得する

この機能は、GPSMAP H1i Plus デバイスの衛星サブスクリプションプランが有効な場合のみ使用できます。

インターネット接続ができない場所でも、GPSMAP H1i Plus デバイスから inReach サービスプランを使用して天気情報取得リクエストを送信し、現在地や任意の地点の予想天気情報を取得することができます。天気情報の取得には、inReach サービスプランのデータ通信料または追加料金が発生します。衛星から天気情報を取得するときは、上空の開けた場所で実行してください。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 必要な場合は、**[場所を変更]** を選択して取得する天気情報の地域を変更します。
デフォルトでは現在地の天気情報を取得します。
- 4 **[天気予報を入手]** を選択します。

デバイスから天気情報取得リクエストを送信後、天気予報データを受信するまで数分かかる場合があります。

注意：海洋天気予報は、海やその他の大きな水域の一部に対応していない場合があります。海洋天気予報が取得できない場合は、岸から離れた地点を選択してください。

取得した天気情報は、天気予報データが期限切れになるまではいつでも表示できます。また、天気予報データはいつでも更新できます。(29 ページ [inReach 天気情報を衛星経由で更新する](#))

inReach 天気情報を衛星経由で更新する

GPSMAP H1i Plus デバイスは、インターネット接続ができない場所でも、有効期限が切れたり、古い情報が含まれている inReach 天気情報を更新できます。天気予報データの更新には、天気情報取得リクエスト送信時と同じデータ通信料または追加料金が発生します。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[天気]** を選択します。
- 3 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[天気予報を更新]** > **[天気予報を更新]** の順に選択します。

デバイスから天気情報更新リクエストが送信されます。更新された天気予報データを受信するまで数分かかる場合があります。

アプリを検索する

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ホーム画面で  を選択します。
 - ・ **検索ボタン** を押します。
- 2 画面上部の **[アプリ]** フィルターを選択します。
- 3 **[アプリを検索]** を選択します。
- 4 アプリ名の一部または全部を入力します。

inReach 機能 - GPSMAP H1i Plus

⚠警告

GPSMAP H1i Plus デバイスでメッセージ送受信、SOS、トラッキング、inReach 天気情報などの inReach 機能を利用するには、有効な衛星サブスクリプションプランが必要です。デバイスを実際に使用する前に必ず屋外でデバイスの通信をテストしてください。

メッセージ送受信、トラッキング、SOS 機能を使用するには、衛星との通信が必要です。これらの機能を使用するとき、上空の開けた場所にいることを確認してください。

注意

一部の国または地域では、衛星通信デバイスの使用が規制または禁止されています。ユーザーの責任において、衛星通信デバイスを使用する地域で適用されるすべての法律を把握し、遵守してください。

メッセージ

GPSMAP H1i Plus デバイスは、イリジウム衛星ネットワークを介してメッセージを送受信します。メールアドレス、ショートメッセージサービス(SMS)が利用可能な電話番号、他の inReach デバイスへメッセージを送信できます。送信するメッセージには、現在地の情報が含まれています。

注意：メッセージの送受信先の端末でご使用のキャリアによっては、inReach デバイスとの間で SMS メッセージを送受信できない場合があります。メッセージ機能を利用する際は、メールアドレス宛に送信することを推奨します。

テストメッセージを送信する

⚠警告

デバイスを実際に使用する前に屋外でテストメッセージを送信して、衛星サブスクリプションプランが有効であることを確認する必要があります。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]** > **[新規メッセージ]** の順に選択します。
- 3 testinreach@garmin.com にメッセージを送信します。
注意：サブスクリプションを有効にすると、このアドレスからのメッセージが自動で届きます。テストメッセージが送信されるまで待機します。確認メッセージを受信したら準備完了です。

チェックインメッセージを送信する

チェックインメッセージは、あらかじめメッセージ本文と宛先の組み合わせを指定したメッセージです。

ヒント：Garmin Messenger アプリでチェックインメッセージの宛先をカスタマイズできます。アプリの**[デバイス]** タブで、**[チェックイン]** > **[チェックイン連絡先を編集]** の順に選択します。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]** >  の順に選択します。
- 3 チェックインメッセージを選択します。

新規メッセージを送信する

一度に複数の宛先にメッセージを送信して、全員がお互いの返信を確認できるグループ会話を生成できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]** > **[新規メッセージ]** の順に選択します。
- 3 宛先を選択します。**[連絡先]** を選択してリストから選択するか、手動でキーボード入力します。
ヒント：  を選択するとキーボードを閉じることができます。
- 4 **[メッセージを開始]** を選択し、オプションを選択します。
 - ・あらかじめ作成したメッセージを呼び出すには、**[クイックテキスト]** を選択します。
注意： Garmin Explore ウェブサイトでクイックテキストメッセージを編集または追加できます。
 - ・カスタムメッセージを作成するには、キーボードでメッセージを入力します。
- 5 次のオプションを選択します。
注意：メッセージに添付できるデータは1件のみです。

- ・メッセージにウェブ上のトラッキングページへのリンクを付けて送信するには、**+** > **[トラッキングのリンク]** の順に選択します。
- ・メッセージに音声メモを添付して送信するには、**+** > **[音声]** の順に選択し、録音を開始します。(27 ページ [音声メモを録音する](#))
- ・既存の写真データをメッセージに添付して送信するには、**+** > **[写真]** の順に選択し、写真を選択します。
- ・写真を新しくカメラで撮影してメッセージに添付して送信するには、**+** > **[カメラ]** の順に選択し、写真を撮影します。(19 ページ [写真を撮影する](#))
- ・メッセージから位置情報を除外するには、**📍** を選択します。
注意： デフォルトでは、メッセージに位置情報が含まれます。

6 メッセージが完成したら、**[送信]** を選択します。

投稿メッセージを送信する

投稿メッセージは、一度に複数の宛先にメッセージを送信し、それぞれの受信者は他の人の返信を見ることなく個別にメッセージを受け取ります。

- 1 **☰** を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]** > **[新規メッセージ]** の順に選択します。
- 3 宛先を選択します。**[連絡先]** を選択してリストから選択するか、手動でキーボード入力します。

ヒント： **📄** を選択するとキーボードを閉じることができます。

- 4 **メニューボタン** を押して **[投稿メッセージで送信]** を選択します。
- 5 **[メッセージを開始]** を選択し、オプションを選択します。
 - ・あらかじめ作成したメッセージを呼び出すには、**[クイックテキスト]** を選択します。
注意： Garmin Explore ウェブサイトでクイックテキストメッセージを編集または追加できます。
 - ・カスタムメッセージを作成するには、キーボードでメッセージを入力します。

6 次のオプションを選択します。

注意： メッセージに添付できるデータは 1 件のみです。

- ・メッセージにウェブ上のトラッキングページへのリンクを付けて送信するには、**+** > **[トラッキングのリンク]** の順に選択します。
- ・メッセージに音声メモを添付して送信するには、**+** > **[音声]** の順に選択し、録音を開始します。(27 ページ [音声メモを録音する](#))
- ・既存の写真データをメッセージに添付して送信するには、**+** > **[写真]** の順に選択し、写真を選択します。
- ・写真を新しくカメラで撮影してメッセージに添付して送信するには、**+** > **[カメラ]** の順に選択し、写真を撮影します。(19 ページ [写真を撮影する](#))
- ・メッセージから位置情報を除外するには、**📍** を選択します。
注意： デフォルトでは、メッセージに位置情報が含まれます。

7 メッセージが完成したら、**[送信]** を選択します。

メッセージに返信する

- 1 **☰** を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]** を選択します。
- 3 メッセージのスレッドを選択します。
- 4 **[返信]** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・あらかじめ作成したメッセージを呼び出すには、**[クイックテキスト]** を選択します。
 - ・カスタムメッセージを作成するには、キーボードでメッセージを入力します。

ヒント： **📄** を選択するとキーボードを閉じることができます。

6 次のオプションを選択します。

注意： メッセージに添付できるデータは 1 件のみです。

- ・メッセージにウェブ上のトラッキングページへのリンクを付けて送信するには、**+** > **[トラッキングのリンク]** の順に選択します。
- ・メッセージに音声メモを添付して送信するには、**+** > **[音声]** の順に選択し、録音を開始します。(27 ページ [音声メモを録音する](#))

- ・既存の写真データをメッセージに添付して送信するには、**+** > **[写真]**の順に選択し、写真を選択します。
- ・写真を新しくカメラで撮影してメッセージに添付して送信するには、**+** > **[カメラ]**の順に選択し、写真を撮影します。
(19 ページ **写真を撮影する**)
- ・メッセージから位置情報を除外するには、**📍**を選択します。
注意：デフォルトでは、メッセージに位置情報が含まれます。

7 メッセージが完成したら、**[送信]**を選択します。

文字入力時の便利なボタン操作

- ・**検索ボタン** オートコンプリートの最初の候補を選択します。
- ・**登録ボタン** キーボードを切り替えます。
- ・**ページボタン** 1回押しで大文字と小文字の切り替え、2回押しで大文字入力に固定します。
- ・**インボタン** バックスペースで文字を削除します。
- ・**アウトボタン** スペースを挿入します。

新着メッセージを確認する

メッセージ通信モードが**[パフォーマンス]**のときは、デバイスは継続的に新着メッセージの問い合わせを行います。メッセージ通信モードが**[低電力]**のときは、メッセージ送信後の10分間は継続して問い合わせを行います(33 ページ **Messenger アプリ設定**)。また、1時間ごとにも新着メッセージの問い合わせを行います。inReach トラッキング機能を使用しているときは、トラッキングの記録間隔と同時に自動で新着メッセージの問い合わせを行います。

注意：メッセージを受信するには、デバイスが衛星の電波を受信可能な上空の開けた場所にある必要があります。次の手順で衛星との通信を行うことで、新着メッセージの問い合わせやメッセージ送信、軌跡ポイントの情報の送信を手動で行うことができます。

- 1 **☰**を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]**を選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[メールの確認]**を選択します。

メッセージの詳細を確認する

- 1 **☰**を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]**を選択します。
- 3 メッセージのスレッドを選択します。
- 4 メッセージを選択します。

メッセージを削除する

- 1 **☰**を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[Messenger]**を選択します。
- 3 メッセージのスレッドを選択します。
- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[スレッドを削除]**を選択します。

メッセージ設定

☰を選択してアプリの一覧を開きます。**[Messenger]**を選択し、**メニューボタン**を押してオプションメニューから**[メッセージの設定]**を選択します。

[既読まで鳴動]：新着メッセージが既読になるまでデバイスの呼び出し音を鳴らします。この機能は、騒がしい場所にいる場合に役立ちます。

[通知]：inReach メッセージを受信したときに、ポップアップの通知を表示します。

[地図に表示]：メッセージを地図上に表示します。

Messenger アプリ設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。[設定] > [Messenger] の順に選択します。

[通知]：inReach メッセージを受信したときに、ポップアップの通知を表示します。

[音/バイブ]：メッセージ受信時および送信時の通知音とバイブレーションのパターンを設定します。

[メディアの自動ダウンロード]：写真と音声メッセージを衛星経由で自動でダウンロードします。

[メッセージ通信モード]：**[パフォーマンス]**モードでは新着メッセージの問い合わせを継続して行うため、バッテリーを多く消費します。**[低電力]**モードでは新着メッセージの問い合わせ頻度を落とし、バッテリーを節約します。

inReach トラッキング

GPSMAP H1i Plus デバイスのトラッキング機能では、デバイスで記録した軌跡ポイントをイリジウム衛星経由で一定時間ごとに送信できます。

トラッキングを開始する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[トラッキング]** > **[トラッキング開始]** の順に選択します。
注意：トラッキングを開始すると、同時にアクティビティ記録も開始されます。

トラッキングを終了する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[トラッキング]** > **[トラッキング停止]** の順に選択します。
注意：トラッキングを停止すると、同時にアクティビティ記録も停止されます。

トラッキングページを共有する

ウェブ上のトラッキングページへのリンクを共有することができます。メッセージにリンク情報を含むテキストが自動で追加されます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[トラッキング]** > **[追跡用リンクを共有]** の順に選択します。
- 3 **[連絡先]** を選択して連絡先のリストから宛先を選択するか、宛先を手動で入力します。
ヒント： を選択するとキーボードを閉じることができます。
- 4 必要に応じて、テキストのテンプレートを選擇してメッセージ本文を編集します。
- 5 **[送信]** を選択します。

inReach トラッキング設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[トラッキング]** を選択し、**メニューボタン** を押してオプションメニューから **[トラッキングセットアップ]** を選択します。

[トラッキング]：inReach トラッキングを開始します。

このオプションとデータ記録設定の **[自動スタート]** オプションがオンの場合、デバイスが衛星を捕捉すると自動で inReach トラッキングを開始します。(52 ページ [データ記録設定](#))

[送信間隔]：トラッキング中の軌跡の記録間隔と送信間隔を設定します。

注意：送信間隔の設定はバッテリー消費量に影響します。(59 ページ [仕様](#))

警告

SOS 機能を使用するには、衛星サブスクリプションプランが有効になっている必要があります。デバイスを実際に使用する前に必ず屋外でデバイスの通信をテストしてください。

SOS 機能を使用するには、衛星との通信が必要です。上空の開けた場所にいることを確認してください。

注意

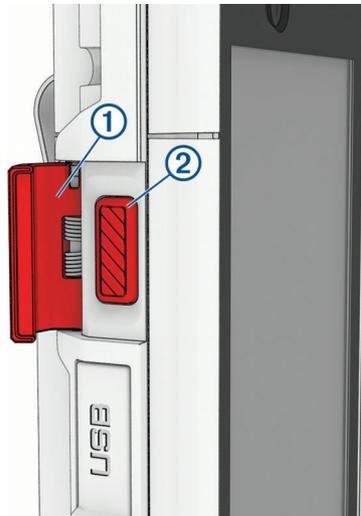
一部の国または地域では、衛星通信デバイスの使用が規制または禁止されています。ユーザーの責任において、衛星通信デバイスを使用する地域で適用されるすべての法律を把握し、遵守してください。

緊急の時にのみ使用します。GPSMAP H1i Plus デバイスで Garmin 応答センターに連絡して救助を要請できます。SOS ボタンを押すと Garmin 応答センターの対応チームにメッセージが送信され、あなたの状況に応じた緊急対応サービスに情報を提供します。救助が到着するまで、Garmin 応答センターの対応チームと連絡を取り合うことができます。SOS 機能は実際の緊急時にのみ使用してください。

SOS 救助要請を送信する

SOS 救助要請は、バッテリー残量があればデバイスの電源がオフのときでも開始することができます。

- 1 プロテクトカバー①を SOS ボタン②から外します。



- 2 SOS ボタンを長押しします。
- 3 SOS のカウントダウンが開始されます。
緊急対応サービスに SOS のデフォルトメッセージとあなたの位置情報が送信されます。
- 4 緊急対応サービスから確認メッセージが届いたら、返信します。
メッセージに返信することで、ご自身がメッセージのやりとりができる状態であることが緊急対応サービスに伝わります。返信がなくても、救助は開始します。

最初の 10 分間は、現在地を緊急対応サービスへ 1 分ごとに送信します。バッテリーの消費を抑えるため、それ以降は、10 分ごとに現在地が送信されます。

ヒント： Garmin Messenger アプリでも、SOS 救助要請を開始して Garmin 応答センターの対応チームと連絡を取り合うことができます。アプリで SOS 機能を利用するときは、有効な衛星サブスクリプションプランが必要です。

SOS カスタムメッセージを送信する

SOS 救助要請開始後、SOS ページからカスタムメッセージを返信できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[SOS]** > **[返信]** の順に選択します。
- 3 画面に表示されるキーボードで SOS のカスタムメッセージを入力します。
- 4 **[送信]** を選択します。
メッセージに返信することで、ご自身がメッセージのやりとりができる状態であることが緊急対応サービスに伝わります。

SOS 救助要請を取り消す

緊急対応サービスへ SOS 救助要請を送信した後に救助の必要がなくなった場合、SOS 救助要請を取り消すことができます。

- 1 プロテクトカバーを外して、SOS ボタンを長押しします。
- 2 **[SOS 取り消し]** を選択します。
- 3 SOS の取り消しを確認するメッセージが表示されたら、**[SOS 取り消し]** を選択します。
取り消しリクエストが送信されます。緊急対応サービスからの確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の状態に戻ります。

inReach のデータを同期する

プランや連絡先、チェックインメッセージの宛先などを編集した後は、Garmin Messenger アプリでデータを同期する必要があります。

- 1 inReach 衛星コミュニケーターの電源を入れます。
- 2 デバイスとスマートフォンを 10m 以内に近づけます。
- 3 スマートフォンで Garmin Messenger アプリを開きます。
- 4 デバイスのデータが自動で同期されるまで待ちます。
ヒント：アプリの **[デバイス]** タブで、inReach 衛星コミュニケーターの接続ステータスとメッセージの最終問い合わせ時刻を確認できます。

契約プランの詳細と使用状況を確認する

GPSMAP H1i Plus デバイスでプランの詳細とデータ使用量を確認できます。データ使用量として、請求期間内に送信されたメッセージ、軌跡ポイント、およびチェックインメッセージの件数を確認できます。データ使用量の計上は、請求期間が切り替わると自動的にリセットされます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[サービスプラン]** を選択します。
- 3 Garmin Messenger アプリでデータプランを変更した場合は、**[更新]** を選択します。

連絡先

GPSMAP H1i Plus デバイスで inReach メッセージの連絡先を追加・削除・編集することができます。

連絡先を追加する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[連絡先]** > **[新しい連絡先]** の順に選択します。
- 3 編集する項目を選択します。
- 4 情報を入力します。

連絡先を編集する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[連絡先]** を選択します。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 編集する項目を選択します。
- 5 情報を入力します。

連絡先を削除する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[連絡先]** を選択します。
- 3 連絡先を選択します。
- 4 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[連絡先削除]** を選択します。

inReach リモート設定

fênix ウォッチなどの ANT+ 対応のデバイスから GPSMAP H1i Plus デバイスの inReach 機能を使用できます。inReach リモート機能でデバイスを ANT+ 接続することで、受信メッセージの確認、チェックインメッセージの送信、トラッキングの開始・停止、SOS の開始・キャンセルをリモートで実行できるようになります。

 を選択してアプリの一覧を開きます。**【設定】 > 【ワイヤレス接続】 > 【センサー】 > 【inReach リモート】** の順に選択します。

【有効】：inReach リモート機能のオン / オフを設定します。

【デバイス番号】：ANT+ 接続のデバイス番号を表示します。

【認証済みデバイス】：ワイヤレス接続可能な認証済みのデバイスをリストで表示します。

ナビゲーション

目的地へのナビゲーションを開始する

- 1 検索ボタンを押します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 目的地を選択します。
ヒント：検索履歴や保存済みポイントなどを検索して目的地を選択できます。(37 ページ [目的地を検索する](#))
- 4 **[ナビゲーション]** を選択します。
- 5 ナビゲーションのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティ名を選択して、アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更します。
 - ・ 地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算をするには、**[ルート探索]** のスイッチをオンにします。
 - ・ ルートの探索方法を設定するには、**[詳細設定]** を選択します。(37 ページ [ルート探索設定](#))
- 6 **[出発]** を選択します。
ルート探索結果が地図上に表示されます。ナビゲーションツールを使用して移動できます。(40 ページ [地図](#)、38 ページ [コンパス](#))

目的地を検索する

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ ホーム画面で **Q** を選択します。
 - ・ **検索ボタン** を押します。
- 2 画面上部の **[マップ]** フィルターを選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[地図の検索]** プリインストール地図のデータから目的地を検索します。
 - ・ **[検索履歴]** 検索履歴から検索します。
 - ・ **[地図使用]** 地図を表示して目的地を指定します。
 - ・ **[保存済み]** 保存済みのポイント、コース、アクティビティから検索します。
 - ・ **[POI]** 都市、飲食店、宿泊施設などのカテゴリーから検索します。
 - ・ **[ジオキャッシュ]** ダウンロード済みのジオキャッシュから検索します。
 - ・ **[サイトナビ]** 目視はできても正確な位置や距離が分からない地点に向かう場合に、対象物を基準点としたナビゲーションを行います。
 - ・ **[TracBack]** 現在のアクティビティの開始地点に戻るナビゲーションを開始します。
 - ・ **[座標]** 座標を入力して目的地を指定します。
- 4 必要に応じて、名前の一部または全部を入力します。
- 5 必要に応じて、**[現在地]** を選択して検索エリアを現在地周辺から他の場所に変更します。
- 6 目的地を選択します。

ルート探索設定

目的地へのナビゲーションを開始します(37 ページ [目的地へのナビゲーションを開始する](#))。**[詳細設定]** を選択します。

注意：設定可能な項目は、選択されている目的地やコースによって異なります。

[ルート探索方法]：ルート探索方法を設定します。

[コースの再計算]：ルートから外れたときにルートの再計算を実施するか設定します。

[回避]：ルート探索で回避したい道路や走行条件を設定します。

[コースのトランジション]：次の経由地へのナビゲーションに移行する条件を設定します。この設定は、コースを選択している場合のみ利用可能です。**[距離]** を選択すると、ナビゲーション中の経由地に対して指定した距離まで近づいた場合に自動で次の経由地へのナビゲーションに移行します。**[コースポイント]** アプリを使用すると、直線ルートでのコースナビゲーションを実行中に案内中の地点を変更することができます。

ナビゲーションを中止する

- 1 検索ボタンを押します。
- 2 **[ナビゲーション中止]** を選択します。

コンパス

ナビゲーション中にコンパスページを表示すると、進行方向にかかわらず ▲ は目的地の方向を指し示します。▲ がコンパスの上方向を指し示している場合、目的地方向にまっすぐ向かっています。▲ がコンパスの上方向を指し示している場合、目的地方向にまっすぐ向かっています。

コンパスにナビゲーション情報を表示する

ナビゲーション中は、進行方向にかかわらず ▲ は目的地の方向を指し示します。

- 1 目的地へのナビゲーションを開始します。(37 ページ [目的地へのナビゲーションを開始する](#))
- 2  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 3 コンパスの ▲ がデバイス上部を向くように進行方向を転換し、そのまま目的地の方向へ進みます。

サイトナビ

設定した方向に向かうナビゲーションを行います。目視はできても正確な位置や距離が分からない地点に向かいたい場合に役立つ機能です。

- 1  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 2 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 3 [サイトナビ] を選択します。
- 4 目指す方向にデバイスを向けます。
- 5 [方向ロック] > [コースを設定] の順に選択します。
- 6 コンパスを使ってナビゲーションを開始します。

現在地を起点にポイントを投影する

現在地からの距離をもとに新規ポイントを作成できます。

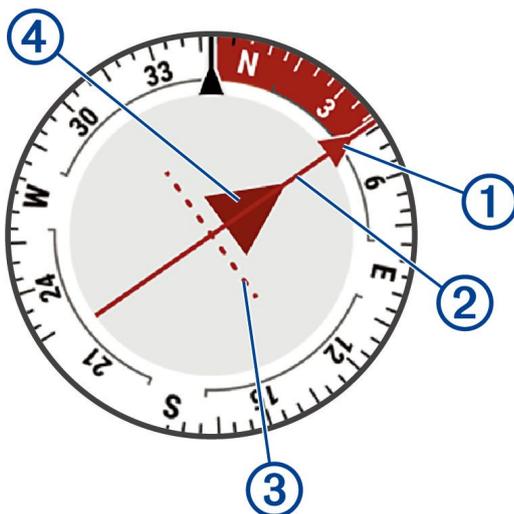
目視できても直接その場所へアクセスできないときなどは、その地点にポイントを投影することでナビゲーションを開始することができます。

- 1  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 2 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 3 [サイトナビ] を選択します。
- 4 登録したいポイントがある方向にデバイスを向けます。
- 5 [方向ロック] > [ポイント投影] の順に選択します
- 6 単位を選択します。
- 7 距離を入力し、[完了] を選択します。
- 8 [保存] を選択します。

コースポインター

コースポインターは、水上を移動しているときなど、経路を直線的に進むときに便利です。また、障害物や危険箇所を回避してコースから外れた場合に、コースラインに戻るときにも役立ちます。

- 1  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 2 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 3 [コンパスの設定] > [コンパススタイル] > [コース(CDI)] の順に選択してコースポインターを有効にします。



①	コースライン	出発点と目的地を結んだ直線が表示されます。
②	オフコースライン	コースラインからの逸脱方向(左右)を示します。コースライン上に重なって表示されている場合は、逸脱していません。
③	コース逸脱距離	コースラインからの逸脱距離の目安をドットで示します。距離は右上に表示される縮尺で確認してください。
④	進捗インジケータ	出発点と目的地に対して、現在地を相対的に示します。

コンパス設定

☰ > **[コンパス]** の順に選択してコンパスを開き、**メニューボタン**を押します。

[サイトナビ]：設定した方向に向かうナビゲーションを行います。(38 ページ [サイトナビ](#))

[ナビゲーション中止]：実行中のルートナビゲーションを中止します。

[ナビゲーションを再開する]：停止中のルートナビゲーションを再開します。

[ダッシュボード変更]：ダッシュボードのテーマや表示する情報を変更します。

注意：コンパスダッシュボードはアクティビティごとに異なります。設定内容は現在のアクティビティタイプに保存されます。(51 ページ [アクティビティ設定](#))

[コンパスの校正]：コンパスが異常な動作をする場合に、コンパス校正を行います。長距離を移動した後や、極端な温度変化があった場合などに実施してください。(39 ページ [コンパスを校正する](#))

[コンパスの設定]-[(アクティビティ名)設定]：現在のアクティビティタイプのコンパス設定をカスタマイズします。(51 ページ [アクティビティ設定](#))

[コンパスの設定]-[表示]：方位の表示方法を、文字方位または度、ミルから選択します。

[コンパスの設定]-[方位基準]：コンパスの北の定義を選択します。(40 ページ [北の定義を設定する](#))

[コンパスの設定]-[コンパススタイル]：ナビゲーション実行中に地図上に表示するコンパスを設定します。方位表示モードを選択すると、目的地の方向を示します。コース表示モードを選択すると、目的地までのコースラインとの関係を示します。

[コンパスの設定]-[縮尺]：サイトナビ実行中にコース逸脱距離を示すドット間の縮尺を変更します。

[コンパスの設定]-[コンパス]：移動を一定の速度以上で一定時間続けたときに、電子コンパスから GPS 方位に自動で切り替えます。

[データ項目をロック]：データ項目をロックします。データ項目をカスタマイズするときはロックを解除してください。

[データ項目変更]：コンパスのデータ項目を変更します。

[設定リセット]：コンパスに関する設定を初期化します。

コンパスを校正する

コンパス校正は、周辺に磁気を帯びた機器のない場所で実施してください。パソコンの近くやマグネットが張り付く机などの上では、成功しない場合があります。自動車やビルの近く、頭上に電線のある場所を避け、屋外で実施してください。

デバイスには 3 軸電子コンパスが内蔵されています。長距離を移動したときや、極端な温度変化があったときにはコンパスを校正してください。

- 1  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 2 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 3 [コンパスの校正] > [開始] の順に選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

北の定義を設定する

コンパスで示す方向の定義を選択します。

- 1  > [コンパス] の順に選択してコンパスを開きます。
- 2 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 3 [コンパスの設定] > [方位基準] の順に選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ [真北] 北極点の方向に方位基準を設定します。
 - ・ [磁北] 磁石が指し示す地磁気の北方向を方位基準に設定します。
 - ・ [グリッド] グリッド航法時に使用します。
 - ・ [ユーザー] 磁針偏差を入力して手動で設定します。

地図

地図ページには、現在地を示すアイコン ▲ と軌跡、ズームレベルによってはポイント名とポイントのシンボルが表示されます。縮尺を変えて拡大するごとに、情報をより詳細に確認できるようになります。

ナビゲーション実行中は、地図上にルートが表示されます。

地図管理

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [地図管理] を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ [Outdoor Maps+] デバイスの Outdoor Maps+ サブスクリプションを有効化してプレミアム地図をダウンロードします。
(40 ページ [地図をダウンロードする](#))
 - ・ [TopoActive 地図] TopoActive 地図をダウンロードします。(41 ページ [TopoActive 地図をダウンロードする](#))
 - ・ [更新を確認] デバイスにダウンロードした地図の更新を確認します。

地図をダウンロードする

デバイスに地図をダウンロードするには、Garmin Explore アプリとペアリングし(3 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。(51 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [地図管理] > [Outdoor Maps+] の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ サブスクリプションを利用せず無料の衛星画像の地図データをダウンロードするには、[衛星画像を追加] を選択します。
 - ・ Outdoor Maps+ サブスクリプションのプレミアム地図をダウンロードするには、[Outdoor Maps+ を入手] を選択します。
注意： Outdoor Maps+ サブスクリプションの購入について、詳しくは Garmin.com/outdoormaps をご参照ください。
- 4 必要に応じて、**メニューボタン**を押し、[レイヤー情報] を選択して地図レイヤーの詳細を確認します。
- 5 [新規地図] を選択します。
- 6 次のオプションを選択します。
 - ・ [地図使用] を選択して、地図から範囲を抜粋してダウンロードします。
 - ・ 利用可能なカテゴリーから任意の場所を選択します。地図の掲載領域のプレビューが表示されます。
- 7 地図上で次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - ・ 地図をドラッグして表示範囲を調整します。
 - ・ タッチスクリーンを指でピンチインまたはピンチアウトして、地図を拡大 / 縮小します。
 - ・ **イン** または **アウトボタン**を押して、地図を拡大 / 縮小します。
 - ・ 地図を **ダブルタップ**してすばやく拡大します。
- 8 [次へ] を選択します。
- 9 次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - ・ [名前] 地図の名前を編集します。
 - ・ [保存場所] 地図データの保存場所を内蔵メモリからメモリーカードに変更します。

- ・地図レイヤー名のチェックボックスを選択して、ダウンロードする地図レイヤーを変更します。
注意：メニューボタンを押して[レイヤー情報]を選択すると、地図レイヤーの詳細を確認できます。
- 地図の推定ダウンロードサイズが表示されます。デバイスに十分な空き容量があるか確認してください。

10 [ダウンロード]を選択します。

TopoActive 地図をダウンロードする

デバイスに地図をダウンロードするには、Garmin Explore アプリとペアリングし(3 ページ スマートフォンとペアリングする)、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。(51 ページ Wi-Fi ネットワークに接続する)

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [地図管理] > [TopoActive 地図] > [追加] の順に選択します。
- 3 地図を選択します。
- 4 [ダウンロード]を選択します。

地図を削除する

地図を削除してデバイスの空き容量を増やすことができます。

注意：一部のプリインストール地図は削除できません。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [地図管理] を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ [TopoActive 地図] から任意の地図を選択し、メニューボタンを押して[削除]を選択します。
 - ・ [Outdoor Maps+] から任意の地図を選択し、メニューボタンを押して[削除]を選択します。

地図にナビゲーションルートを表示する

- 1 目的地へのナビゲーションを開始します。(37 ページ 目的地へのナビゲーションを開始する)
- 2  > [地図] の順に選択して地図を表示します。
現在地を示す青の三角アイコンが地図上に表示されます。
- 3 次のいずれかまたは複数の操作を行います。
 - ・ 地図をドラッグするか、十字キー(▲, ▼, ◀, ▶)を押して表示範囲を調整します。
 - ・ タッチスクリーンを指でピンチインまたはピンチアウトするか、イン またはアウトボタンを押して地図を拡大 / 縮小します。
ヒント：地図をダブルタップするとすばやく拡大できます。
 - ・ 地図上にアイコンで示されているポイントやその他の場所の詳細情報を確認するには、カーソルを任意の位置に合わせ、地図画面上部の情報バーを選択します。

地図上で距離を計測する

複数の地点間の距離を計測できます。

- 1  > [地図] の順に選択して地図を表示します。
- 2 メニューボタンを押してオプションメニューを表示します。
- 3 [距離を測定する] > [開始] の順に選択します。
- 4 地図をドラッグして任意の地点をタップするか、十字キー(▲, ▼, ◀, ▶)を押してカーソルを任意の地点に合わせます。
- 5 [使用] を選択します。
距離の計測結果が表示されます。
- 6 カーソルを移動し [使用] を選択すると、地図上の地点を追加できます。

地図設定

-  > [地図] の順に選択して地図を開き、メニューボタンを押します。
- [ダッシュボードを表示]：現在のアクティビティタイプでの、地図上のダッシュボードの表示 / 非表示を切り替えます。(51 ページ アクティビティ設定)
- [ナビゲーション中止]：実行中のルートナビゲーションを中止します。
- [地図設定] > [(アクティビティ名)設定]：現在のアクティビティタイプの地図設定をカスタマイズします。

(51 ページ アクティビティ設定)

注意：地図ダッシュボード、ダークモード、およびその他の設定はアクティビティごとに異なります。

【地図設定】-【地図管理】：デバイスにダウンロードした地図を確認・管理します。Outdoor Maps+ サブスクリプションをお持ちの場合は、追加の地図データをダウンロードできます。(40 ページ 地図管理)

【地図設定】-【方向】：地図の表示方向を設定します。(42 ページ 地図の向きを変更する)

【地図設定】-【案内テキスト】：ナビゲーションの内容を文字で案内するウィンドウの表示を設定します。

【地図設定】-【自動ズーム】：地図が最適な表示になるように自動で縮尺を変更します。オフに設定すると、縮尺を手動で変更する必要があります。

【地図設定】-【詳細度】：地図の表示の詳細度を選択します。詳細度を高く設定すると表示される情報量は増えますが、地図の描画に時間がかかります。

【地図設定】-【車両】：地図上の現在地を示すアイコンを選択します。デフォルトでは、青の三角アイコンが選択されています。

【地図設定】-【文字サイズ】：地図上に表示される情報の文字の大きさを選択します。

【地図設定】-【地図描画速度】：地図の描画速度を調整します。描画速度を上げると、バッテリーを多く消費します。

【距離を測定する】：複数の地点間の距離を計測します。(41 ページ 地図上で距離を計測する)

【設定リセット】：地図に関する設定を初期化します。

【地図レイヤー】：重ねて表示する地図データを選択します。

【地図のダウンロード】：Outdoor Maps+ サブスクリプションをお持ちの場合は、現在地の地図をダウンロードできます。(40 ページ 地図管理)

地図の向きを変更する

- 1  > 【地図】の順に選択して地図を表示します。
- 2 メニューボタンを押してオプションメニューを表示します。
- 3 【地図設定】>【方向】の順に選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・【ノースアップ】 地図画面上方が常に北になるように表示します。
 - ・【トラックアップ】 進行方向が常に地図画面上方になるように表示します。
 - ・【3D】 進行方向が常に地図画面上方になり、車両を中心として少し上空から見たような図で表示します。

地図データを表示 / 非表示する

デバイスに複数の地図データがインストールされている場合は、地図ページに表示する地図データを選択できます。

- 1 地図上の  を選択します。
- 2 地図レイヤーを選択して地図データの表示 / 非表示を切り替えます。

別売の地図データ

Outdoor Maps+ や City Navigator などの別売の地図データをデバイスに追加できます。これらの地図には、レストランや海洋サービスなどの追加の POI データが含まれている場合があります。詳しくは [Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp) にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

別売の地図データを購入する

- 1 当社ウェブサイト ([Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp)) の製品のページにアクセスします。
- 2 アクセサリタブの地図製品をクリックします。
- 3 必要に応じて、収録エリアと地図タイプを選択します。
- 4 地図を選択します。
- 5 画面に表示される指示に従って操作します。

ポイント

現在地や任意の地点の位置情報をポイントとしてデバイスに保存することができます。深度、高度、名称など位置情報の詳細を追加できます。

ポイント情報を含む GPX ファイルをデバイスの【GPX】フォルダに転送して追加することもできます。(58 ページ デバイスに PC からファイルを転送する)

現在地をポイント登録する

- 1 登録ボタンを押します。
- 2 必要な場合は、名前や位置などの項目を選択してポイント情報を編集します。
- 3 **[完了]**を選択します。

地図上の任意の地点をポイント登録する

地図で任意の地点を選択して、ポイントとして保存できます。

- 1  > **[地図]**の順に選択して地図を表示します。
- 2 画面を**タップ**するか、十字キー(, , , )を押してカーソルを任意の地点に合わせます。
- 3 画面上部の情報バーを選択します。
- 4 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 5 **[ポイントとして保存]**を選択します。

ポイントへのナビゲーションを開始する

- 1 ホーム画面で**[保存済み]**を選択します。
- 2 ポイントを選択します。
ヒント：を選択すると、保存済みデータをポイントで絞り込むことができます。
- 3 **[ナビゲーション]**を選択します。
- 4 ナビゲーションのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティ名を選択して、アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更します。
 - ・ 地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算をするには、**[ルート探索]**のスイッチをオンにします。
 - ・ ルートの探索方法を設定するには、**[詳細設定]**を選択します。(37 ページ [ルート探索設定](#))
- 5 **[出発]**を選択します。
ルート探索結果が地図上に表示されます。ナビゲーションツールを使用して移動できます。(40 ページ [地図](#)、38 ページ [コンパス](#))

保存済みポイントを検索する

- 1 検索ボタンを押します。
- 2 **[保存済み]** > **[ポイント]**の順に選択します。
- 3 必要な場合は、次のオプションを選択します。
 - ・ **[ポイントの検索]** ポイントの名前で検索します。
 - ・ **[周辺検索]** 検索履歴にあるポイント、その他のポイント、現在地、地図上で選択したポイントなどを起点に距離が近い順に検索します。
- 4 リストからポイントを選択します。

ポイントを編集する

- 1 ホーム画面で**[保存済み]**を選択します。
- 2 保存済みのポイントを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[ポイント編集]**を選択します。
- 5 名前や位置など、編集したい項目を選択します。
- 6 新しい情報を入力し、**[完了]**を選択します。

ポイントを削除する

- 1 ホーム画面で**[保存済み]**を選択します。
- 2 保存済みのポイントを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[削除]**を選択します。

保存済みのポイントを起点にポイントを投影する

選択したポイントからの距離と方向をもとに新規ポイントを作成できます。

- 1 ホーム画面で**[保存済み]**を選択します。

- 2 ポイントを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **【ポイント投影】**を選択します。
- 5 方位角を入力し、**【完了】**を選択します。
- 6 単位を選択します。
- 7 距離を入力し、**【完了】**を選択します。
- 8 **【保存】**を選択します。

ポイントの近隣情報を検索する

- 1 ホーム画面で**【保存済み】**を選択します。
- 2 ポイントを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **【近隣検索】**を選択します。
- 5 カテゴリーを選択します。

指定した場所の周辺にあるポイントが一覧に表示されます。

コース

コースには複数の経由地と目的地を設定でき、ポイントの間を直線またはナビゲーション可能な道路に沿って結ぶことができます。コースデータはFIT ファイル形式でデバイスに保存されます。

保存済みコースのナビゲーションを開始する

- 1 ホーム画面で**【保存済み】**を選択します。
- 2 コースを選択します。
ヒント：を選択すると、保存済みデータをコースで絞り込むことができます。
- 3 **【ナビゲーション】**を選択します。
- 4 ナビゲーションのオプションを選択します。
 - ・ アクティビティタイプ(ウォーク、ハイキング、狩りなど)を変更するには、アクティビティ名を選択します。
 - ・ 地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算をするには、**【ルート探索】**のスイッチをオンにします。
 - ・ ルートの探索方法を設定するには、**【詳細設定】**を選択します。(37 ページ [ルート探索設定](#))
- 5 **【出発】**を選択します。
ルート探索結果が地図上に表示されます。ナビゲーションツールを使用して移動できます。(40 ページ [地図](#)、38 ページ [コンパス](#))

コース名を編集する

- 1 ホーム画面で**【保存済み】**を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **【名前の変更】**を選択します。
- 5 新しい名前を入力します。

地図上でのコースの表示色を変更する

地図上でコースを判別しやすいように、コースの軌跡の表示色をカスタマイズできます。

- 1 ホーム画面で**【保存済み】**を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **【カラー選択】**を選択します。
- 5 色を選択します。

コースを地図で確認する

- 1 ホーム画面で**【保存済み】**を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。

4 **[地図に表示]** を選択します。

コースの高度グラフを確認する

ナビゲーションのルート探索設定に基づくコースの高度変化をグラフで表示します。ルート探索設定がオフの場合、高度グラフはコースポイントの高度を直線で結んだ状態で表示されます。ルート探索設定がオンの場合、デバイスは地図データに合わせてコースを調整したり必要に応じて再計算します。高度グラフにはコースで使用している道路の高度変化が表示されます。

- 1 ホーム画面で **[保存済み]** を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3  を選択します。

コースを削除する

- 1 ホーム画面で **[保存済み]** を選択します。
- 2 コースを選択します。
- 3 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[削除]** を選択します。

ワイヤレス接続機能

デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続したり、スマートフォンと Bluetooth 接続することで、ワイヤレス接続機能を利用できます。ペアリング済みのデバイスを Garmin Messenger アプリと連携すると、さらに便利な機能を利用することができます。ペアリング済みのデバイスを Garmin Explore アプリと連携すると、さらに便利な機能を利用することができます。アプリについて詳しくは、Garmin.com/apps をご参照ください。

Garmin Messenger：Garmin Messenger アプリを使用すると、スマートフォンでメッセージを作成・送信したり、連絡先やチェックインメッセージの宛先を GPSMAP H1i Plus デバイスと同期できます。

Garmin Explore：Garmin Explore アプリとデバイスを同期して、ポイント、コース、コレクションのデータを共有することができます。スマートフォンに地図をダウンロードして、オフラインでも地図を参照することができます。

Connect IQ ストア：Connect IQ アプリからコンテンツ(ウィジェット、データ項目、アプリケーション)を追加してデバイスをカスタマイズします。

EPO ファイルのダウンロード：GPS の位置を素早く特定するための EPO (Extended Prediction Orbit) ファイルを、Garmin Explore アプリまたは Wi-Fi ネットワークからダウンロードできます。初期位置を算出するまでの時間を短縮できます。

Outdoor Maps+：Wi-Fi ネットワークから衛星画像の地図データまたは Outdoor Maps+ サブスクリプションのプレミアム地図をダウンロードできます。

ライブジオキャッシュデータ：www.geocaching.com のジオキャッシュデータを Garmin Explore アプリまたは Wi-Fi ネットワークからデバイスにダウンロードできます。

トラッキング：GPSMAP H1i Plus デバイスで軌跡ポイントを記録して、イリジウム衛星ネットワーク経由で送信できます。inReach メッセージを送信すると、相手をデータの閲覧者として招待できます。招待した閲覧者は、ウェブ上のトラッキングページであなたのライブデータの閲覧が可能です。

スマート通知機能：スマートフォンで受信したメッセージ、アプリなどの通知をデバイスに表示できます。

ソフトウェア更新：利用可能な更新ソフトウェアを Garmin Explore アプリまたは Wi-Fi ネットワークからデバイスにダウンロードしてインストールできます。

天気情報：現在の天気と天気予報を Garmin Explore アプリまたは Wi-Fi ネットワークから取得し、デバイスに表示できます。

inReach 天気情報：GPSMAP H1i Plus デバイスで inReach サービスプランを使用して、衛星経由で天気予報を取得できます。

Garmin Trails をフォロー：Garmin Connect+ サブスクリプションをお持ちの場合、Garmin のデータベースや他の Garmin ユーザーが推奨するアウトドアトレイルやコースにアクセスできます。写真や評価、旅行レポートなどの情報も利用可能です。登録するには、お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから Garmin Connect アプリをダウンロードするか、connect.Garmin.com にアクセスしてください。

Garmin Explore

Garmin Explore ウェブサイトまたはアプリでは、コース、ポイント、コレクションの作成、トリップの計画や軌跡の同期、アクティビティのアップロード、クラウドストレージを使用できます。オンラインまたはオフラインでも詳細な計画を提案し、互換性のある Garmin デバイスとデータの同期や共有をすることができます。

モバイルアプリでは地図をダウンロードして、オフラインアクセスでもナビゲーションに地図を利用できます。

スマートフォンのアプリストアで Garmin Explore アプリをダウンロードできます。ウェブサイトは、explore.Garmin.com をご参照ください。

ワイヤレス接続機能の使用要件

機能を使用するために、スマートフォンとの接続や、Garmin のスマートフォンアプリのインストールが必要な場合があります。

機能	ペアリング済みスマートフォンに接続	Wi-Fi ネットワークに接続
Garmin Explore へのデータアップロード	はい	いいえ
ソフトウェア更新	はい	はい
EPO ファイルのダウンロード	はい	はい
ライブジオキャッシュデータ	はい	はい
天気	はい	はい
スマート通知	はい * ¹	いいえ
Connect IQ	はい	いいえ
Outdoor Maps+	はい * ²	はい * ³

*1 スマート通知の受信方法は使用しているスマートフォンによって異なります。iOS[®] からは直接、Android[™] からは Garmin Explore アプリを經由して通知を受信します。

*2 サブスクリプションを有効化する際に必要です。

*3 地図データをダウンロードする際に必要です。

スマート通知機能

デバイスとペアリング済みのスマートフォンが Bluetooth 通信範囲内にあるとき、スマート通知機能を利用できます。スマートフォンでメッセージを受信すると、通知がデバイスに送信されます。

通知を確認する

スマート通知機能を利用するには、デバイスとスマートフォンをペアリングする必要があります。

- 1  を長押しするか、ホーム画面を上端から下にスワイプして通知センターとコントロールを表示します。
- 2 通知を選択します。

通知を無効にする

デフォルトでは、スマートフォンで通知を受信すると、デバイスの画面に通知のバナーが表示されます。次の手順でバナーの表示をオフに設定することができます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 [設定] > [ワイヤレス接続] > [Bluetooth] > [スマート通知] の順に選択します。
- 3 スイッチを選択してスマート通知を無効にします。

デバイスに表示する通知を管理する

デバイスに表示する通知は、スマートフォンで設定できます。

次のオプションを選択します。

- iPhone[®] を使用している場合は、iOS の通知設定からスマートフォンとデバイスに表示する通知を管理します。
注意：iPhone で通知をオンにしたすべての通知がデバイスにも表示されます。
- Android デバイスを使用している場合は、Garmin Explore アプリのプロフィール画像表示部を **タップ** し、[アプリの設定] > [通知] からデバイスに表示する通知を管理します。

Connect IQ 機能

Garmin またはその他の開発者から提供された Connect IQ コンテンツをデバイスに追加することができます。

データ項目：アクティビティやセンサー、履歴に表示するデータ項目をダウンロードできます。デバイスにデフォルトで用意されている機能やデータページに追加できます。

アプリケーション：新しい屋外アクティビティやフィットネスアクティビティなどのインタラクティブ機能を追加できます。

Connect IQ コンテンツをダウンロードする

Connect IQ のコンテンツを Connect IQ アプリからデバイスにダウンロードするには、あらかじめスマートフォンとデバイスをペアリングする必要があります。(3 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

- 1 お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Connect IQ アプリをダウンロードします。インストール完了後、アプリを起動します。

- 2 ペアリング済みデバイスを複数台お持ちの場合は、デバイスを選択します。
- 3 ダウンロードする Connect IQ コンテンツを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

PC で Connect IQ コンテンツをダウンロードする

- 1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
- 2 [apps.Garmin.com](https://apps.garmin.com) にアクセスし、Garmin Connect アカウントでサインインします。
- 3 Connect IQ コンテンツを選択し、ダウンロードします。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

設定メニュー

 を選択してアプリの一覧を開き、**[設定]** を選択します。

ヒント：設定メニューはメニュー名で検索できます。(55 ページ [設定メニューを検索する](#))

[音/バイブ]：デバイスの音とバイブレーション(ボタン操作時のフィードバックやアラートなど)に関する設定を行います。(49 ページ [音/バイブの設定](#))

[ディスプレイと輝度]：輝度調整やディスプレイに関する設定を行います。(50 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))

[ワイヤレス接続]：スマートフォンやワイヤレスセンサーとのペアリングや Wi-Fi ネットワークとの接続、およびその他の連携機能に関する設定を行います。(50 ページ [ワイヤレス接続設定](#))

[アクションボタン]：アクションボタンの機能をカスタマイズします。(51 ページ [アクションボタンをカスタマイズする](#))

[アクティビティ]：アクティビティ一覧のカスタマイズ(10 ページ [アクティビティ一覧をカスタマイズする](#))や、アクティビティごとの地図、コンパス、記録方法に関する設定をカスタマイズ(51 ページ [アクティビティ設定](#))します。

[データ記録]：アクティビティ記録の設定とデバイスでのデータ記録方法をカスタマイズします。(52 ページ [データ記録設定](#))

[システム]：システム設定をカスタマイズします。(53 ページ [システム設定](#))

[Messenger]：GPSMAP H1i Plus デバイスの Messenger アプリに関する設定をカスタマイズします。(33 ページ [Messenger アプリ設定](#))

[地図]：地図に関する設定を行います。(41 ページ [地図設定](#))

[カメラ]：GPSMAP H1i Plus デバイスの写真の保存先やフラッシュモードを設定します。

[ジオキャッシュ]：ジオキャッシュ設定をカスタマイズします。(23 ページ [ジオキャッシュ設定](#))

[マリン]：海洋データの地図表示に関する設定を行います。(55 ページ [マリン設定](#))

[Applied Ballistics]：Applied Ballistics アプリに関する設定をカスタマイズします。(18 ページ [Applied Ballistics アプリ設定](#))

音/バイブの設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[音/バイブ]** の順に選択します。

[音量]：すべてミュートのオン/オフ、スピーカーの音量を調整します。

[Bluetooth オーディオ]：Bluetooth イヤホンとデバイスを接続します。(49 ページ [Bluetooth イヤホンと接続する](#))

[バイブレーション]：バイブレーションのオン/オフを設定します。

[Messenger]：GPSMAP H1i Plus デバイスでのメッセージ受信時および送信時の通知音とバイブレーションのパターンを設定します。

[スマート通知]：ペアリング済みのスマートフォンからの通知のオン/オフや、通知取得時の通知音とバイブレーションのパターンを設定します。

[ナビゲーション案内]：コースナビゲーション中のターンバイターン方式での経路情報ガイダンスのオン/オフを設定します。

[システムアラート]：システムアラートのオン/オフや、アラート時の通知音とバイブレーションのパターンを設定します。

[ボタン操作時フィードバック]：ボタン操作時の音とバイブレーションを設定します。

[キーボード操作時フィードバック]：画面上のキーボード操作時の音とバイブレーションを設定します。

[アクティビティを開始/停止]：アクティビティ開始時および停止時の音とバイブレーションを設定します。

[ラップ]：ラップ取得時および停止時の音とバイブレーションを設定します。

[タッチ操作時]：タッチスクリーン操作時の音とバイブレーションを設定します。

Bluetooth イヤホンと接続する

- 1 デバイスと Bluetooth イヤホンを 2m 以内に近づけます。
- 2 Bluetooth イヤホンをペアリングモードにします。
- 3  を選択してアプリの一覧を開きます。

4 [設定]>[音/バイブ]>[Bluetooth オーディオ]>[デバイス追加]の順に選択します。

5 検出されたイヤホンを選択して接続を完了します。

ディスプレイと輝度の設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。[設定]>[ディスプレイと輝度]の順に選択します。

[輝度]：ディスプレイの輝度を調節します。

[輝度自動調節]：周囲の明るさに応じてディスプレイの輝度を自動調整します。

[ナイトビジョン]：輝度自動調節がオフの場合に、暗視ゴーグルを着用していても見やすい輝度に調整するナイトビジョンモードのオン/オフを設定します。

[画面表示オフ]：ディスプレイの点灯時間を設定します。

注意：このオプションはバッテリー消費量に影響します。

[バックライト点灯]：画面表示オフ設定で**[なし]**のオプションを選択した場合に、バックライトの点灯時間を設定します。

注意：画面を常時オンに設定すると、このデバイスのバッテリーを多く消費します。

[タッチ]：タッチスクリーンを有効/無効に設定します。

[タップして起動]：タップするとデバイスが起動する機能のオン/オフを設定します。

[自動ロック]：画面表示がオフになると同時にデバイスをロックします。電源ボタンを押すとロックを解除できます。

[ダークモード]：画面の配色を時間帯に応じて昼間モードと夜間モードを自動で切り替えたり、いずれかのモードに固定できます。

ワイヤレス接続設定

 を選択してアプリの一覧を開き、**[ワイヤレス接続]**を選択します。

[センサー]：ワイヤレスセンサーやアクセサリとデバイスをペアリングします。(51 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))

[Bluetooth]：デバイスとスマートフォンをペアリングしたり、Bluetooth 設定をカスタマイズします。(51 ページ [Bluetooth 設定](#))

[Wi-Fi]：Wi-Fi ネットワークに接続したり、Wi-Fi 設定をカスタマイズします。(51 ページ [Wi-Fi 設定](#))

[Bluetooth オーディオ]：Bluetooth イヤホンとデバイスを接続します。(49 ページ [Bluetooth イヤホンと接続する](#))

[Garmin シェア]：Garmin シェア機能をオンにして他の Garmin デバイスとデータを送受信したり(20 ページ [Garmin シェア](#))、以前ペアリングしたデバイスの情報を削除します。

ワイヤレスセンサー

別売の ANT+ センサーまたは Bluetooth センサーとデバイスをペアリングできます(51 ページ [ワイヤレスセンサーをペアリングする](#))。ペアリングしたセンサーのデータは、データ項目に表示することができます(7 ページ [データ項目をカスタマイズする](#))

デバイスに対応するワイヤレスセンサーについて、詳しくは Garmin.co.jp をご参照ください。

センサータイプ	説明
Applied Ballistics	レンジファインダーや風向風速センサーなどの Applied Ballistics デバイスを接続してデバイスに弾道データを表示できます。
バイクスピード/ケイデンスセンサー	スピードセンサーやケイデンスセンサーをバイクに取り付けてライド中にデータを計測できます。
心拍計(ハートレートセンサー)	胸部心拍計などの外部心拍センサーとペアリングします。アクティビティ中の心拍データを確認できます。
inReach リモート	GPSMAP H1 デバイスで inReach 衛星コミュニケーターのリモート操作を行います。
tempe	tempe ワイヤレス温度センサーとペアリングします。センサーが空気にさらされるようにストラップなどで取り付けることで、より正確な気温を計測できます。
Vectronix	Vectronix® レンジファインダーを接続してデバイスに弾道データを表示できます。
その他	ウェザーメーターなど、Applied Ballistics アプリで使用するその他のセンサーを検索します。
CIQ センサー	ダウンロード済みの Connect IQ コンテンツ用のセンサーを使用できます。

ワイヤレスセンサーをペアリングする

デバイスは別売の ANT+ センサーまたは Bluetooth センサーをペアリングして使用することができます。デバイスに対応するセンサーについて、詳しくは Garmin.co.jp をご参照ください。センサーの接続タイプについて、詳しくは Garmin.com/hrm_connection_types をご参照ください。

- 1 センサーを装着するか、センサー本体のボタンを押して起動します。
注意：ペアリング方法については、ワイヤレスセンサーの操作マニュアルをご参照ください。
- 2 デバイスとセンサーの距離を 3m 以内に近づけます。
注意：ペアリング中は、その他のセンサーから 10m 以上離れてください。
- 3  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 4 **[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[センサー]** の順に選択します。
- 5 センサータイプを選択します。
- 6 **[スキャン]** または **[オン]** を選択します。
センサーとのペアリングが完了すると、センサーステータスが **[接続済み]** に変わります。

Bluetooth 設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Bluetooth]** の順に選択します。

[ステータス]：Bluetooth 接続のオン / オフを設定します。また、現在の接続ステータスを確認できます。

[スマート通知]：ペアリング済みのスマートフォンからの通知のオン / オフや、通知取得時の通知音とバイブレーションのパターンを設定します。

[ペアリング解除]：ペアリング済みのスマートフォンとのペアリングを解除します。このオプションは、ペアリング設定が完了している場合のみ表示されます。

Wi-Fi 設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Wi-Fi]** の順に選択します。

[Wi-Fi]：Wi-Fi 接続のオン / オフを設定します。

注意：他の Wi-Fi 設定オプションは、**[Wi-Fi]** がオンの場合のみ表示されます。

[自動アップロード]：Wi-Fi 経由のアクティビティデータの自動アップロードの有効 / 無効を設定します。

[Wi-Fi 同期]：Wi-Fi ネットワーク経由で手動でデータを同期します。

[マイネットワーク]：接続する Wi-Fi ネットワークを選択します。(51 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

Wi-Fi ネットワークに接続する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
 - 2 **[設定]** > **[ワイヤレス接続]** > **[Wi-Fi]** の順に選択します。
 - 3 必要な場合は、スイッチを選択して Wi-Fi を有効にします。
 - 4 **[マイネットワーク]** > **[ネットワークを追加]** の順に選択します。
 - 5 必要な場合は、ネットワーク一覧から接続するネットワークを選択し、パスワードを入力します。
- デバイスにネットワーク情報が保存されます。デバイスがネットワークの接続圏内に入ると、自動で再接続します。

アクションボタンをカスタマイズする

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[アクションボタン]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[アクションを押す]** アクションボタンを押したときのショートカット機能をカスタマイズします。
 - ・ **[アクションを長押し]** アクションボタンを長押ししたときのショートカット機能をカスタマイズします。
 - ・ **[アクションを2回押す]** アクションボタンをすばやく2回押したときのショートカット機能をカスタマイズします。

アクティビティ設定

デバイスにプリインストールされているアクティビティの設定をカスタマイズできます。例えば、地図の表示やコンパスダッシュボード、アクティビティの記録設定をアクティビティごとにカスタマイズできます。

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[アクティビティ]** > 任意のアクティビティの順に選択します。

- [マップマッチ]**：付近の道路上に現在地を補正します。道路上をナビゲーションする際に便利な機能です。
- [地図ダッシュボード]**：地図上のダッシュボードの表示を有効にします。ダッシュボードの種類によって、表示されるアクティビティや現在地の情報は異なります。
- [軌跡カラー]**：軌跡ログの表示カラーを選択します。
- [ハイコントラスト]**：地図のコントラストが高くなります。
- [マリンチャートモード]**：海洋データを表示するときに使用する海図のタイプを設定します。**[航海]**を選択すると、様々な海図を色分けして表示します。**[釣り]**を選択すると、等深線や水深データの詳細図を表示し、釣りに役立つ地図表示になるように最適化されます。
- [コンパスダッシュボード]**：コンパスページのダッシュボードをカスタマイズします。ダッシュボードの種類によって、表示されるアクティビティや現在地の情報は異なります。
- [自動ポーズ]**：移動速度が設定した速度以下になったときに、アクティビティの記録を自動で停止します。
- [自動ラップ]**：設定した距離を移動するごとに自動でラップを取得します。

一定距離ごとにラップを取得する

走行距離がある決められた距離に到達するごとに自動でラップを記録します。アクティビティの中の異なる部分を比較するときに便利な機能です。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[アクティビティ]** の順に選択します。
- 3 アクティビティを選択します。
- 4 **[自動ラップ]** のスイッチをオンにします。
- 5 **[自動ラップ距離]** を選択します。
- 6 値を入力し、**[完了]** を選択します。

アクティビティ設定をリセットする

すべてのアクティビティの設定を工場出荷状態にリセットできます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[アクティビティ]** の順に選択します。
- 3 **メニューボタン**を押してオプションメニューを表示します。
- 4 **[設定リセット]** を選択します。

データ記録設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[データ記録]** の順に選択します。

[(アクティビティ名)設定]：現在のアクティビティタイプの記録設定をカスタマイズします。(51 ページ [アクティビティ設定](#))

注意：自動ポーズと自動ラップの設定はアクティビティごとに異なります。

- [記録方法]**：アクティビティデータの記録方法を設定します。**[スマート]** オプション(初期値)では、軌跡が最適な状態で作成できるようにポイントの記録間隔が自動調節されます。**[毎秒]** オプションを選択すると、1秒ごとにポイントが記録されアクティビティデータの精度が向上しますが、長時間のアクティビティを記録できない場合があります。
- [自動スタート]**：デバイスが衛星を捕捉したときに自動的に新しく記録を開始するよう設定します。
- [オートセーブ]**：記録中の軌跡データを自動保存するタイミングを設定します。トリップデータの整理やメモリ使用量の節約に役立ちます。(52 ページ [オートセーブ設定](#))
- [データ出力]**：アクティビティのデータ保存形式を FIT、GPX/FIT から選択します(58 ページ [ファイル形式](#))。
[FIT] を選択すると、Garmin Connect 向けに調整されたフィットネス情報を含むアクティビティデータとして記録され、ナビゲーションにも使用できます。**[GPX/FIT]** を選択すると、地図上に表示してナビゲーションに使用できる既存の軌跡と、フィットネス情報を含むアクティビティデータの両方として記録されます。
- [トリップ記録]**：トリップデータの記録オプションを選択します。

オートセーブ設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[データ記録]** > **[オートセーブ]** の順に選択します。

[自動]：4 日間にわたってポイントが 1 件も記録されなかった場合、現在の軌跡データを自動で保存します。

【毎日】：一日で最初に電源を入れたときに前回の軌跡データを自動で保存し、新しく記録を開始します。

【週】：週で最初に電源を入れたときに前回の軌跡データを自動で保存し、新しく記録を開始します。

【表示しない】：軌跡データの自動保存は行いません。

システム設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**【設定】** > **【システム】** の順に選択します。

【衛星】：衛星受信に関する設定を行います。(53 ページ [衛星設定](#))

【コンパス】：コンパス設定をカスタマイズします。(39 ページ [コンパス設定](#))

【高度計】：高度計設定をカスタマイズします。(12 ページ [高度計設定](#))

【言語】：デバイスの表示言語を設定します。

注意：言語設定を変更しても、ユーザーが入力したデータや地図データの言語は変更されません。

【音声】：音声の言語と音声コマンドの入力言語を設定します。

【キーボード】：キーボード言語を設定します。

【パスワード】：デバイスのセキュリティ強化のための 4 桁のパスワードを設定します。(53 ページ [デバイスのパスワードを設定する](#))

【エクスペディションモード】：エクスペディションモードの有効化に関する設定をカスタマイズします。(54 ページ [エクスペディションモードを有効にする](#))

【メッセージ通信モード】：**【パフォーマンス】** モードでは GPSMAP H1i Plus デバイスで新着の inReach メッセージの問い合わせを継続して行うため、バッテリーを多く消費します。**【低電力】** モードでは新着の inReach メッセージの問い合わせ頻度を落とし、バッテリーを節約します。

【位置フォーマット】：位置フォーマットと測地系を設定します。(54 ページ [位置フォーマット設定](#))

【単位】：単位に関する設定を行います。(54 ページ [表示単位を変更する](#))

【時刻】：時刻表示を設定します。(55 ページ [時刻設定](#))

【ポイント】：自動入力されるポイント名称のタイプを変更したり、接頭文字の設定をカスタマイズします。

【アクセシビリティ】：タッチスクリーンの感度や画面の文字サイズを設定します。

【RINEX ロギング】：RINEX 形式 (Receiver Independent Exchange Format) のデータをデバイスのシステムフォルダ (Garmin フォルダ > RINEX フォルダ) に書き出します。RINEX は、衛星ナビゲーションシステムの共通フォーマットとして使われているファイル形式です。

【詳細設定】 - 【外部電源オフ】：外部電源との接続を解除したときの電源モードを設定します。

【詳細設定】 - 【外部電源オン】：外部電源に接続したときの電源モードを設定します。

【詳細設定】 - 【USB モード】：PC 接続時のモードを、MTP (メディア転送) モードまたは Garmin モードから選択します。

【詳細設定】 - 【心拍ゾーン】：最大心拍数と 1 ~ 5 の心拍ゾーンを設定します。この情報はフィットネスアクティビティで使用します。

【リセット】：ユーザーデータや設定をリセットします。(55 ページ [リセット](#))

【デバイス情報】：デバイスのユニット ID、ソフトウェアバージョン、規制情報、ライセンス契約などの情報を確認します。(59 ページ [電子ラベルの規制および準拠情報を確認する](#))

衛星設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**【設定】** > **【システム】** > **【衛星】** の順に選択します。

【自動選択】：SatIQ 技術により、環境に応じて最適なモードを自動的に選択します。これにより、バッテリーの稼働時間を優先しながらも、測位精度を向上させることができます。

【マルチ GNSS マルチバンド】：複数の全地球航法衛星システム (GNSS) から、L1 信号と L5 信号の 2 周波数帯の信号を受信します。周波数帯域の異なる複数の衛星システムを同時に使用 (マルチバンドシステム) すると、GPS のみを受信するよりも、過酷な環境でのパフォーマンスが向上し、測位にかかる時間が短くなります。ただし、マルチバンドに設定すると、バッテリーの消費が早くなります。

【GPS】：GPS とみちびきのみを受信します。

【デモモード】：衛星信号の受信をオフにします。

デバイスのパスワードを設定する

注意

パスワードを 3 回間違えると、デバイスが一定時間ロックされます。5 回間違えると、Garmin Explore アプリでパ

スコードをリセットするまでデバイスがロックされます。スマートフォンとデバイスがペアリングされていない場合は、5回間違えた時点でデバイスのデータと設定が初期化されます。

パスコードを設定して、許可されているユーザー以外によってデバイスが使用されることを防ぐことができます。

- 1 次のオプションを選択します。
 - ・ 初期設定でパスコードに関するメッセージが表示されたら、**[パスコードの作成]**を選択します。
 - ・  を選択してアプリの一覧を開き、**[設定]** > **[システム]** > **[パスコード]** > **[パスコード設定]** の順に選択します。

2 4桁のパスコードを入力します。

3 パスコードを再入力します。

デフォルトでは、デバイスの電源を入れたときや画面表示オフの状態から復帰したときにパスコードの入力を求めるメッセージがすぐに表示されます。パスコード入力が必要となるまでの時間は**[パスコード要求]**のオプションから設定できます。

デバイスのパスコードを変更する

注意

パスコードを変更するには、現在のパスコードの入力が必要です。パスコードを3回間違えると、デバイスが一定時間ロックされます。5回間違えると、Garmin Explore アプリでパスコードをリセットするまでデバイスがロックされます。スマートフォンとデバイスがペアリングされていない場合は、5回間違えた時点でデバイスのデータと設定が初期化されます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[システム]** > **[パスコード]** > **[パスコードの変更]** の順に選択します。
- 3 現在のパスコードを入力します。
- 4 新しいパスコードを入力します。
- 5 パスコードを再入力します。

エクスペディションモードを有効にする

エクスペディションモードをオンにすると、バッテリー稼働時間を長くすることができます。エクスペディションモード中は、画面がオフになり、軌跡ポイントの記録頻度が低下します。軌跡ポイントの記録間隔は変更できます。

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。
- 2 **[設定]** > **[システム]** > **[エクスペディションモード]** の順に選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ **[エクスペディションモード]** > **[スタート警告]** デバイスの電源をオフにする操作をするたびに、エクスペディションモードへの移行を促すメッセージを表示します。
 - ・ **[エクスペディションモード]** > **[自動]** アクティブでない状態が2分以上続いた場合に自動でエクスペディションモードに移行します。
 - ・ **[エクスペディションモード]** > **[表示しない]** エクスペディションモードを使用しません。

4 **[記録間隔]** を選択します。

エクスペディションモード中は、軌跡ポイントは指定した間隔で記録されます。

注意：軌跡ポイントの記録頻度が低いほど、バッテリー稼働時間が長くなります。

エクスペディションモード中は、ステータス LED が緑色でゆっくりと点滅します。

位置フォーマット設定

注意：地図や海図が異なる位置フォーマットまたは測地系の使用を指定しているとき以外は、設定を変更しないでください。

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[システム]** > **[位置フォーマット]** の順に選択します。

[位置フォーマット]：位置フォーマットを設定します。

[測地系]：地図の測地系を設定します。

[スフェロイド]：デバイスが使用している測地系を表示します。デフォルトでは、**[WGS 84]** が選択されています。(このオプションは、**[測地系]** で **[None]** または **[User]** を選択した場合のみ編集できます。)

表示単位を変更する

- 1  を選択してアプリの一覧を開きます。

2 **[設定]** > **[システム]** > **[単位]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[速度と距離]** 距離とスピードの単位を変更します。
- ・ **[昇降速度]** 昇降速度の単位を変更します。
- ・ **[高度]-[高度]** 高度の単位を変更します。
- ・ **[高度]-[深度]** 深度の単位を変更します。
- ・ **[温度]** 温度の単位を変更します。
- ・ **[気圧]** 気圧の単位を変更します。

4 単位を選択します。

時刻設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[システム]** > **[時間]** の順に選択します。

[時刻表示形式]：時刻の表示方法を選択します。12 時間、24 時間、ミリタリーのいずれかを選択します。

[タイムゾーン]：タイムゾーンを設定します。**[自動]** を選択すると、GPS で取得した現在地のタイムゾーンが自動で設定されます。

[サマータイム]：サマータイムの適用を設定します。

リセット

1  を選択してアプリの一覧を開きます。

2 **[設定]** > **[システム]** > **[リセット]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ **[トリップデータのリセット]** トリップデータを消去します。
- ・ **[すべてのポイントを削除]** 保存されているすべてのポイントを削除します。
- ・ **[現在の軌跡消去]** 現在のアクティビティとトリップデータを消去します。
注意：デバイスは自動で次のアクティビティの記録を開始します。
- ・ **[すべての設定をリセット]** デバイスのすべての設定を工場出荷状態にリセットします。
注意：**[すべての設定をリセット]** を選択すると、すべてのジオキャッシュアクティビティがデバイスから削除されます。保存済みのコースやポイントなどのユーザーデータは保持されます。
- ・ **[全削除]** デバイスに保存されているすべてのユーザーデータを削除し、すべての設定を工場出荷状態に戻します。
注意：**[全削除]** を選択すると、アクティビティデータ、取得した衛星測位データ、履歴、保存済みのコースやポイントなどのユーザーデータは削除されます。

ページの設定を初期化する

1 設定を初期化したいページを表示します。

2 **メニューボタン** を押してオプションメニューを表示します。

3 **[設定リセット]** を選択します。

マリン設定

 を選択してアプリの一覧を開きます。**[設定]** > **[マリン]** の順に選択します。

[表示設定]：航海中の地図表示に関する設定を行います。

[マリンアラーム設定]：停泊中に指定されたドリフト距離を超えた場合、コースを指定された距離以上逸脱した場合、および指定の水深地点に進入した場合に知らせるアラートを設定します。(55 ページ **マリンアラームを設定する**)

[マリン速度フィルタ]：スピードの計測値を短いインターバルごとに平均化して表示します。

マリンアラームを設定する

1  を選択してアプリの一覧を開きます。

2 **[設定]** > **[マリン]** > **[マリンアラーム設定]** の順に選択します。

3 アラームタイプを選択します。

4 距離や深さを入力し、**[完了]** を選択します。

設定メニューを検索する

1 次のオプションを選択します。

- ・ ホーム画面で **Q** を選択します。
 - ・ **検索ボタン**を押します。
- 2 画面上部の **【設定】** フィルターを選択します。
 - 3 **【検索設定】** を選択します。
 - 4 設定メニュー名の一部または全部を入力します。

デバイス情報

製品のアップデート

PCをご使用の場合は Garmin Express (Garmin.com/express) を、スマートフォンをご使用の場合は Garmin Explore アプリをインストールしてください。

次のサービスをご利用いただけます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図データのアップデート
- Garmin Explore へのデータアップロード
- 製品の登録

Garmin Express をセットアップする

- 1 付属の USB ケーブルでデバイスを PC に接続します。
- 2 Garmin.com/express にアクセスします。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

デバイスに関するその他の情報

デバイスに関する最新・補足情報は、当社ウェブサイト (Garmin.co.jp) をご参照ください。

- サポートセンター support.Garmin.com/ja-JP/
- チュートリアルビデオ [\[e ラーニング\] GPSMAP H1](#)、[\[e ラーニング\] GPSMAP H1i Plus](#)
- 別売のアクセサリまたはパーツの購入については、Garmin.co.jp にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

お取り扱い上の注意事項

注意

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

タッチスクリーンを傷付けるおそれがありますので、タッチスクリーンの操作に硬いものや先のとがったものを使用しないでください。

化学洗剤や溶剤、日焼け止め、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

USB ポートの損傷を防ぐため、防水カバーはしっかりと閉じてください。

製品寿命を縮めるおそれがありますので、机や床等に落とすなどの強い衝撃を与えないでください。

デバイスのクリーニング方法

- 1 薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で、デバイスを優しく拭き取ります。
- 2 乾いた布で水分を拭き取ります。

USB ポートのクリーニング方法

- 1 デバイスの電源をオフにして、外部電源との接続も解除します。
- 2 USB ポートを柔らかい清潔なリントフリークロスまたは綿棒でクリーニングします。
注意：必要な場合は、少量のイソプロピルアルコールを布または綿棒に含ませてください。
- 3 クリーニング後は、電源に接続する前に完全に乾かしてください。

タッチスクリーンのクリーニング方法

- 1 柔らかい清潔なリントフリークロスを用意します。
- 2 必要に応じて、布に少量の水を含ませます。
- 3 水を含ませた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、外部電源との接続も解除します。
- 4 画面を布で優しく拭きます。

データ管理

ファイル形式

注意：ほとんどのファイルタイプは、GARMIN フォルダ内の **[NewFiles]** フォルダに保存されます。**[GARMIN] > [GPX]** フォルダはジオキャッシュ用のフォルダです。**[GARMIN] > [GPXActivities]** フォルダは、デバイスで記録したアクティビティを GPX 形式で保存する際に使用されます。(52 ページ [データ記録設定](#))

デバイスは、以下のファイル形式をサポートしています。

- Garmin Explore のファイル
- ルート、軌跡、ポイントの GPX ファイル
- ジオキャッシュの GPX ファイル(21 ページ [PC でジオキャッシュをダウンロードする](#))
- コース、アクティビティ、ポイントの FIT ファイル

メモリーカードを挿入する

保存容量を増やしたい場合や別売の地図を使用する場合に、microSD カード(最大 1TB まで)を挿入します。

- 1 デバイスの側面にある防水カバー①を持ち上げます。



- 2 端子面が画面側を向いた状態で microSD カードを挿入します。(図では端子面が見えない向きになります)

デバイスを PC に接続する

注意

さびや腐食を防ぐため、充電または PC への接続を行う前に USB ポートや防水カバーに付着した水分はよく拭き取ってください。

- 1 USB ポートの防水カバーを外します。
- 2 USB ケーブルの一方の端子をデバイスの USB ポートに差し込みます。
- 3 USB ケーブルのもう一方の端子を PC の USB ポートに差し込みます。

デバイスとメモリーカード(別売)は、ポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。ご使用の PC のオペレーティングシステムによって異なります。

注意：Mac® のオペレーティングシステムでは、ケーブル接続のみではデバイスを認識できません。Garmin Express アプリケーションを使用することで、デバイスのソフトウェア更新は可能ですが、デバイス上のファイル进行操作するには、Windows® のオペレーティングシステムをご利用いただく必要があります。

デバイスに PC からファイルを転送する

- 1 デバイスを PC に接続します。

デバイスとメモリーカード(別売)は、ポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。ご使用の PC のオペレーティングシステムによって異なります。

注意：Mac のオペレーティングシステムでは、ケーブル接続のみではデバイスを認識できません。Garmin Express アプリケーションを使用することで、デバイスのソフトウェア更新は可能ですが、デバイス上のファイル进行操作するには、Windows® のオペレーティングシステムをご利用いただく必要があります。

- 2 PC でファイルブラウザを開きます。

- 3 ファイルを選択します。
- 4 **[編集]** > **[コピー]** の順に選択します。
- 5 転送先デバイスまたはメモリーカードのドライブまたはボリュームを開きます。
- 6 転送先のフォルダを開きます。
注意：ほとんどのファイルタイプは、それぞれに適したフォルダが Garmin フォルダ内に用意されています。
(58 ページ ファイル形式)
- 7 **[編集]** > **[貼り付け]** の順に選択します。
転送したファイルがデバイスのメモリーまたはメモリーカードのファイル一覧に表示されます。

ファイルを消去する

注意

デバイスのメモリー内には、重要なシステムファイルが保存されています。それらのファイルを消去してしまった場合、デバイスが起動できなくなるおそれがあります。

- 1 デバイスを PC に接続して Garmin ドライブまたはボリュームを開きます。
- 2 フォルダまたはボリュームを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 キーボードの Delete キーを押してファイルを削除します。

仕様

バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー
バッテリー稼働時間	GPSMAP H1 : Garmin.com/GPSMAPH1Specs を参照 GPSMAP H1i Plus : Garmin.com/GPSMAPH1iPlusSpecs を参照
防水性能	IEC 60529 IP67 *4
動作温度範囲	-20 ~ 60°C
充電温度範囲	-15 ~ 60°C
比吸収率 (EU SAR)	GPSMAP H1i Plus : 1.17 W/kg (四肢), 1.17 W/kg (体幹) GPSMAP H1 : 0.12 W/kg (四肢), 0.12 W/kg (体幹)

*4 本製品は、粉塵のデバイス内部への侵入を防ぐ防塵構造と、水深 1 メートルで最大 30 分間の浸水に耐える防水性能を備えています。

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する

デバイスのラベルを電子的に確認できます。e ラベルでは、FCC または地域のラベル規制によって提供される識別番号などの規制情報、IMEI 番号、該当する製品およびライセンス情報が表示されます。

- 1 **[設定]** を選択します。
- 2 **[システム]** を選択します。
- 3 **[バージョン情報]** を選択します。

付録

データ項目

一部のデータ項目を表示するには、ナビゲーションを開始するか、対応するワイヤレスセンサーとの接続が必要です。

24 時間の最高気温：過去 24 時間以内の最高気温(別売の対応する温度センサーが必要です。)

24 時間の最低気温：過去 24 時間以内の最低気温(別売の対応する温度センサーが必要です。)

GPS 高度：GPS による現在地の標高

GPS 方位：現在の移動方位を角度で表示(GPS を使用)

アクティビティ時間：現在のアクティビティのタイム

カロリー：合計消費カロリー

ケイデンス：クランクアームの毎分の回転数(サイクリング)(ケイデンスセンサーが必要です。)

コース：出発地点から目的地までの方位(ナビゲーション実行中)

コース逸脱：コースから左右に外れている距離(ナビゲーション実行中)

コース方位：ルートから外れているとき、ルートに復帰するために進むべき方向(ナビゲーション実行中)

コース有効速度：ルート上の目的地に向かって進んでいる速度(ナビゲーション実行中)

コンパス方位：現在の移動方位を角度で表示(内蔵の電子コンパスを使用)

ストップウォッチタイマー：現在のアクティビティのタイム

スピード：現在の移動速度

ターン：目的地と現在のコースの進行方向の角度差(L が左 / R が右)(ナビゲーション実行中)

トリップ(移動積算距離)：前回データリセット以降の合計移動距離

トリップ(移動積算時間)：前回データリセット以降の合計移動時間

トリップ(停止積算時間)：前回データリセット以降の合計停止時間

トリップ時間：前回データリセット以降の移動時間と停止時間の合計

なし：空欄を表示

バッテリー残量：バッテリーレベル

ペース：現在のペース

ラップ：現在のアクティビティで完了したラップ数

ラップ%MAX：現在のラップの平均%Max

ラップケイデンス：現在のラップの平均ケイデンス数(サイクリング)

ラップスピード：現在のラップの平均スピード

ラップ下降量：現在のラップの下降量

ラップ距離：現在のラップの移動距離

ラップ上昇量：現在のラップの上昇量

ラップ心拍：現在のラップの平均心拍数

位置精度：位置情報の誤差範囲

移動平均速度：前回データリセット以降の停止時間を除く平均速度

衛星受信強度：衛星信号の受信強度

温度：気温(温度センサーが体温の影響を受けないよう、体から離して使用してください。)(Tempe センサーが必要です。)

滑空比：現在の滑空比(垂直距離の変化に対する水平移動距離の比)

軌跡距離：現在のアクティビティまたは軌跡の走行距離

経緯度：現在地の緯度経度

経過時間：タイマーをスタートしてからアクティビティを終了するまでのタイム(自動ポーズやタイマー停止中も含む、アクティビティを保存するまでのタイム)

経由地への矢印：次の経由地の方向を示す矢印(ナビゲーション実行中)

経由地所要距離：ルート上の次の経由地点までの残り距離(ナビゲーション実行中)

経由地所要時間：ルート上の次の経由地点に到着するまでにかかる予想所要時間(ナビゲーション実行中)

経由地到着時刻：ルート上の次の経由地点に到着する予想時刻(経由地点の現地時間に調整されます。)(ナビゲ

ション実行中)

経路地標高差：現在地とルート上の次の経路地点の標高差(ナビゲーション実行中)

経路地名称：ルート上の次のポイント(ナビゲーション実行中)

現在のラップ：現在のラップのタイム

勾配：移動距離に対する上昇量の割合(%)。例えば、移動距離が 60m で 3m 上昇した場合、勾配は 5%となる。

校正気圧：校正された現在の気圧

高度：現在地の標高(海拔)

最高高度：前回データリセット以降の最高高度

最高速度：前回データリセット以降の最高速度

最大下降量：前回データリセット以降の最高下降量(一分間あたりの下降距離)

最大上昇量：前回データリセット以降の最高上昇量(一分間あたりの上昇距離)

最低高度：前回データリセット以降の最低高度

時刻：現在地と時刻設定(時刻表示形式、タイムゾーン、サマータイム)に基づく時刻(時:分)

次の転換点：次に転換点で転換する方向(一部詳細道路地図データのみ対応)(ナビゲーション実行中)

昇降距離：現在地と最終目的地の標高差(ナビゲーション実行中)

昇降速度：上昇または下降の速度

心拍：現在の心拍数(bpm)(対応する心拍計が必要です。)

心拍 %MAX：最大心拍数に対する現在の心拍数の割合(%)

心拍ゾーン：現在の心拍ゾーン(1 ~ 5)。デフォルトのゾーンはユーザープロフィールと最大心拍数(220 - 年齢)をもとに計算されます。

進行方位：現在移動している方向

水温：水温(水温計測対応の NMEA® 0183 デバイスが必要です。)

制限速度：道路の制限速度(一部地図データのみ対応)。実際の道路標識が掲示する速度規制を優先してください。

積算距離：すべてのトリップの移動距離合計(トリップデータをリセットしても、この積算距離はリセットされません。)

設定経緯度：現在地(位置フォーマット設定で選択したフォーマットで表示します。)

前回ラップケイデンス：前回のラップの平均ケイデンス数(サイクリング)

前回ラップスピード：前回のラップの平均スピード

前回ラップタイム：前回のラップのタイム

前回ラップ下降量：前回のラップの下降量

前回ラップ距離：前回のラップの移動距離

前回ラップ上昇量：前回のラップの上昇量

前回ラップ心拍：前回のラップの平均心拍数

総ラップタイム：これまでに完了したすべてのラップの合計タイム

総下降量：現在のアクティビティまたは前回データリセット以降の合計下降距離

総上昇量：現在のアクティビティまたは前回データリセット以降の合計上昇距離

対地高度：現在地の地面からの高さ

対目的地滑空比：現在地から目的地の標高まで降下するのに必要な滑空比(ナビゲーション実行中)

対目的地昇降速度：目的地の高度に対する昇降速度(ナビゲーション実行中)

大気圧：校正されていない現在の気圧

日の出時刻：GPS の位置情報に基づく現在地の日の出時刻

日の入時刻：GPS の位置情報に基づく現在地の日の入り時刻

日出 / 日没：GPS の位置情報に基づく現在地で、次に訪れる日の出または日の入りの時刻

日付：現在地の年月日

平均 %Max：現在のアクティビティの平均 %Max

平均ケイデンス：現在のアクティビティの平均ケイデンス数(サイクリング)

平均ラップ：現在のアクティビティの平均ラップタイム

平均下降量：前回データリセット以降の垂直方向の平均下降量

平均上昇量：前回データリセット以降の垂直方向の平均上昇量

平均心拍：現在のアクティビティの平均心拍数

平均速度：前回データリセット以降の停止時間を含む平均速度

方位：角度方向(ナビゲーション実行中)

目的地の方位：現在地から目的地までの方位(ナビゲーション実行中)

目的地までの距離：最終目的地までの残り距離(ナビゲーション実行中)

目的地までの時間：目的地へ到着するまでにかかる予想時間(ナビゲーション実行中)

目的地座標：最終目的地の座標(ナビゲーション実行中)

目的地到着時刻：最終目的地に到着する予想時刻(目的地の現地時間に調整されます。)(ナビゲーション実行中)

目的地名称：目的地までのルート上の最終ポイント(ナビゲーション実行中)

別売アクセサリ

マウントや地図、フィットネス向けアクセサリなどの別売のアクセサリや交換用のパーツについては、Garmin.co.jp にアクセスするか Garmin の正規取扱店にお問い合わせください。

tempe

デバイスは、tempe (ANT+ ワイヤレス温度センサー) に対応しています。tempe でデータを計測する際には、体温などの影響を受けにくくするため、センサーにストラップ等を取り付けてセンサー全体が空気にさらされるようにしてください。デバイスに温度データを表示するには、tempe センサーをペアリングする必要があります。詳しくは、tempe の取扱説明書をご参照ください。

ワイヤレスセンサーをペアリングする際のヒント

- ワイヤレスセンサーがご使用の Garmin デバイスと互換性があることを確認してください。
- ペアリングを開始する前に、他の ANT+ センサーから 10m 以上離れてください。
- ペアリングするワイヤレスセンサーと Garmin デバイスを 3m 以内に近づけてください。
- 初回のペアリング以降は、センサーが起動すると自動で Garmin デバイスに接続されます。センサーが正常に動作している場合、デバイスへの再接続は数秒で完了します。
- Garmin デバイスは、ペアリング済みのセンサーのデータのみ取得することができます。

トラブルシューティング

バッテリーの稼働時間を長くするには

次のいずれかまたは複数の方法をお試しください。

- ディスプレイの輝度を低く設定してください。(50 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
- バックライトの点灯時間を短くします。(50 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
- バックライトのタイムアウトと同時にディスプレイが自動でオフになるよう設定します。(50 ページ [ディスプレイと輝度の設定](#))
- フラッシュライトの輝度を低くします。(20 ページ [フラッシュライトを使用する](#))
- エクスペディションモードを有効にします。(54 ページ [エクスペディションモードを有効にする](#))
- Wi-Fi 接続をオフにします。(51 ページ [Wi-Fi 設定](#))
- Bluetooth 接続をオフにします。(51 ページ [Bluetooth 設定](#))
- 衛星受信モードで複数の衛星システムやマルチバンドシステムの利用をオフにします。(53 ページ [衛星設定](#))
- GPSMAP H1i Plus デバイスのメッセージ通信モードを **[低電力]** にします。(33 ページ [Messenger アプリ設定](#))
- GPSMAP H1i Plus デバイスのトラッキング中の軌跡の送信頻度をなるべく低く設定します。(33 ページ [inReach トラッキング設定](#))

長期間の保管

デバイスを数ヵ月間使用しない場合は、バッテリー残量が 50% 以上になるように充電してから、高温多湿の場所を避けて保管してください。長期保管後は、デバイスを使用する前にバッテリーを完全に充電してください。

デバイスを再起動する

デバイスがフリーズするなどして応答しない場合は、デバイスを再起動してください。デバイスを再起動しても、設定やデータが消去されることはありません。

電源ボタンを約 15 秒間長押しします。

心拍ゾーンについて

多くのアスリートは、自身の心臓血管の強度を測定して強化し、フィットネスレベルを向上させるために心拍ゾーンを利用しています。心拍ゾーンは一分間あたりの心拍数の範囲を設定したものです。一般的に、心拍ゾーンは 1 ～ 5 の 5 つのゾーンに分けられ、ゾーンの数字が大きいほど強度が高いことを示します。多くの場合、心拍ゾーンは最大心拍数に対する割合を基に計算されます。

フィットネスの目標

トレーニングの目標に合った適切な心拍ゾーンでトレーニングを行うことで、心肺機能の向上に役立つほか、オーバートレーニングを防いだり、けがのリスクを減らすことができます。

- 心拍数は、運動強度を測るための一つの物差しです。
- 適切な心拍ゾーンでトレーニングを行うことで、心臓血管の能力と強度の向上に役立ちます。

自身の最大心拍数が見える場合は、[63 ページ](#) [心拍ゾーン参考表](#)を参考にして、トレーニングの目標に合わせた心拍ゾーンを決定できます。

自身の正確な最大心拍数が見えない場合は、インターネット等で計算方法をお調べください。または、ジムや専門の医療機関で最大心拍数を計測するテストを行っていることがあります。デフォルトでは、最大心拍数は 220 - (年齢) で求められた推定値が使用されています。

心拍ゾーン参考表

ゾーン	%Max	運動強度	効果
1	50 ～ 60%	リラックスした楽なペースでリズムカルな呼吸	有酸素性能力の基礎作り、ストレスの軽減
2	60 ～ 70%	快適さを感じるペースで呼吸は少し深い会話が可能	心肺機能向上の基本となるトレーニング、回復に適したペース
3	70 ～ 80%	マラソンをするような標準のペースで会話を続けるのが難しい	有酸素性能力の向上、心肺機能向上に最適なトレーニング
4	80 ～ 90%	ややきついペースで呼吸が力強い	無酸素性能力と閾値の向上、スピードの向上
5	90 ～ 100%	長時間維持することのできない全速力のペースで呼吸が相当きつい	無酸素性持久力・筋持久力の向上、パワーの向上

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を Garmin の書面による承諾なしに転載または複製することはできません。本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ, GPSMAP, ANT+, Auto Lap, City Navigator, fēnix, inReach, TracBack は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。Connect IQ, Garmin Connect, Garmin Connect+, Garmin Explore, Garmin Express, Garmin HuntView, Garmin Messenger, Garmin Response, SatIQ, tempe は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずに使用することはできません。

Android™ は Google LLC の商標です。Applied Ballistics Quantum™ は、Applied Ballistics, LLC の商標です。Applied Ballistics® は、Applied Ballistics, LLC の登録商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。iOS® は、Apple Inc. のライセンスに基づいて使用される Cisco Systems, Inc. の登録商標です。iPhone®, Mac® は米国および他の国々における Apple Inc. の登録商標です。Iridium® は、Iridium Satellite LLC の登録商標です。microSD® および microSDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。NMEA® は、National Marine Electronics Association の登録商標です。USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。Vectronix® は、Safran Vectronix AG Corporation が所有する、米国における登録商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: A04828, AA4828

